

# 事業概要書

令和6年度

上田地域振興局

# 目 次

管 内 概 況	.....	1
行政組織及び現在員	.....	4
事業概要		
総務管理課	.....	1-1
企画振興課	.....	2-1
環境課	.....	3-1
農地整備課	.....	4-1
林務課	.....	5-1
商工観光課	.....	6-1
農業農村支援センター	.....	7-1

# 管 内 概 況

## 1 地 勢

県の東部、千曲川中流部に位置し、上田市、東御市、長和町及び青木村の4市町村からなり、面積は905.37 km<sup>2</sup>で、県総面積の6.7%を占めている。

地形は、千曲川右岸は、烏帽子火山の流出で緩傾斜をなし、左岸西部は、平坦地で塩田平と呼ばれ、南部の依田窪地域は、和田峠に源を発する依田川の流域に存している。

## 2 人 口

令和6年4月1日現在、管内の人口は188,729人で、県総人口の9.5%を占めている。

令和2年国勢調査時と比較すると2.7%の減少となっており、市町村別では、上田市は2.4%減、東御市は2.9%減、長和町は6.4%減、青木村は5.3%減となっている。

また、老年人口割合は32.5%と、県平均33.1%を僅かに下回っているが、全県の状況と同様に上昇傾向を示している。特に、町村部においては43.4%と高齢化が進行している。

## 3 交 通

管内を北西方向に流れる千曲川にほぼ並行して上信越自動車道、北陸新幹線、しなの鉄道及び国道18号があり、沿線に市街地・商工業地帯を形成するとともに、長野地域と佐久地域や首都圏を結ぶ重要な交通網が構成されている。さらに、千曲川の西側に広がる塩田平には上田電鉄別所線が通っている。

現在、次世代の広域交通圏を担う上信自動車道などの高規格道路の計画推進と、それを補完する道路として位置付けられる国道144号上野バイパス、国道143号青木峠バイパス等の整備や、地域の生活を担う国道254号三才山トンネルへのアクセス強化、通学路等の交通安全対策推進事業(通学路合同点検箇所)などに取り組んでいる。

## 4 気 象

管内の平均年間降水量は1,000mm前後であり、年間を通じて降水量が少ないため、穀倉地帯である塩田平では、水不足を補うために、古来よりため池を造り、また、依田川・千曲川から大規模な取水を行い、かんがい用いている。

気候は、夏冬、昼夜の寒暖の差が大きい典型的な内陸性気候である。

## 5 産 業

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行し、社会経済活動の正常化が進む一方で、円安の進行や物価の高騰、人手不足などにより、県内産業を取り巻く環境は厳しさを増しており、これを踏まえた経済対策が重要となっている。

農業は、少雨多照な気候条件と、標高420mから1300mの標高差を活かし、多様な作物が生産されている。農業経営体数は3,133(2020農林業センサス)で、5年前に比べ22.4%減少している。このため、管内の関係機関・団体が連携して新規就農者確保や就農後の支援に取り組むとともに、担い手への農地集積や果樹園地の継承、農地や農業水路等の保守・管理など、営農環境の整備を進めている。また、販売力の高い品目・品種への転換、連絡協議会等との連携による千曲川ワインバレー構想の推進に取り組んでいる。

林業は、県内有数のカラマツ産地であり、その多くが木材として利用可能な林齢を迎えていることから、「森林環境譲与税」や「長野県森林づくり県民税」等を活用し、主伐・再造林等による森林整備や地域材の利用促進、民間企業等との連携強化等を進め、地域林業の活性化や持続的な森林経営を図るとともに、森林の二酸化炭素吸収機能や木材の炭素固定機能の発揮によるゼロカーボンの推進に取り組んでいる。

商業は、上田市、東御市を中心に商圈が形成されている。令和3年度の商圈調査によると、上田市(合併前)の吸引力係数は137.5%と全県で第4位となっており、上田地域の商業の中心となっている。しかしながら、上田地域から他地域への流出により、近年の商圈人口は減少しているほか、買い物客の大型店志向により、中心市街地の商店は厳しい状況にある。

工業は、電気や輸送用機械器具製造業を中心に加工組立型企業が多く集積している。管内には、信州大学繊維学部を始め、公益財団法人長野県産業振興機構上田センターや一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)等が所在し、これらの機関が相互に連携を図りながら、企業の新技術・新商品開発や今後成長が期待される分野への事業展開を支援している。

観光は、国宝や重要文化財など名所・旧跡が数多く残るほか、高原や温泉地など多彩で魅力的な観光資源を有しているが、近年は観光地利用者数及び消費額が減少傾向となっている。特に令和2、3年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年と比較してほぼ半減となった。しかしながら、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行され、社会生活における行動制限が廃止されたことなどから、令和5年の観光地利用者数については令和元年の約9割まで、また、消費額については令和元年の水準まで回復している。

面積、人口等

(令和6年4月1日現在)

市町村名	面積	世帯数	人口			老年人口割合	人口密度(1k㎡当たり)	1世帯当たり人口	2年国調人口対比
			計	男	女				
上田市	552.04	65,972	150,331	73,674	76,657	31.8	272.32	2.28	97.6
東御市	112.37	11,548	29,255	14,421	14,834	32.5	260.35	2.53	97.1
長和町	183.86	2,286	5,241	2,625	2,616	44.9	28.51	2.29	93.6
青木村	57.10	1,547	3,902	1,892	2,010	41.3	68.34	2.52	94.7
計(A)	905.37	81,353	188,729	92,612	96,117	32.5	208.46	2.32	97.3
県計(B)	13,561.56	850,398	1,991,977	974,906	1,017,071	33.1	146.88	2.34	97.3
(A)/(B)%	6.7	9.6	9.5	9.5	9.5				

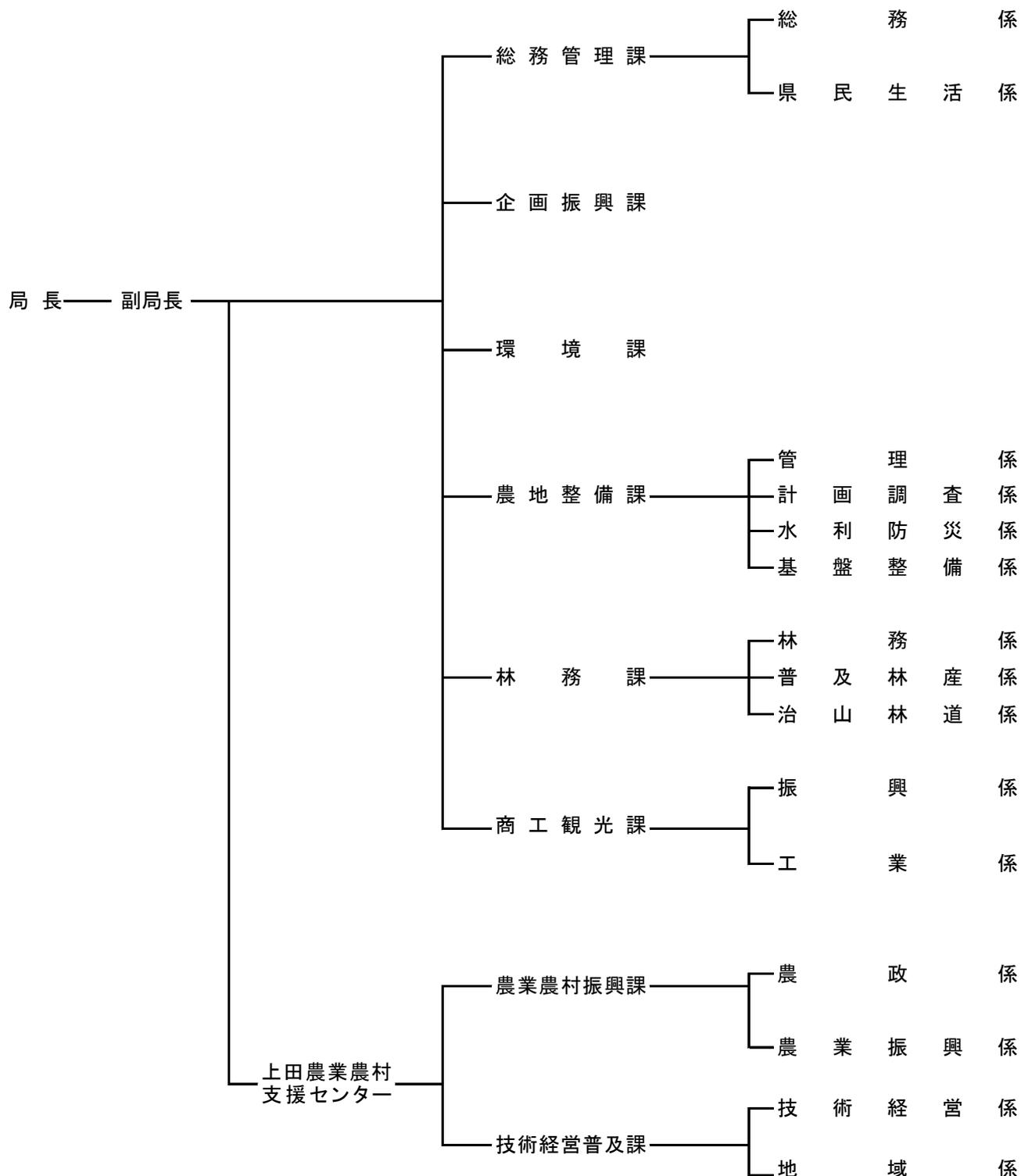
(注) 面積は、国土地理院による(R6.1.1現在) 世帯数・人口は、毎月人口異動調査による(R6.4.1現在)

# 行政組織及び現在員

# 行政組織及び現在員

## 1 組織

(令和6年4月1日現在)



## 2 課別職員数

(令和6年4月1日現在)

区 分	現在員 人	(内 訳)		備 考
		事務 人	技術 人	
総務管理課	9	9		・局長、副局長を含む。
企画振興課	6	6		
環境課	6	4	2	
農地整備課	16	3	13	
林務課	13	2	11	
商工観光課	8	4	4	
上田農業農村 支援センター	20	3	17	・臨時的任用職員1名を含む。
計	78	31	47	

# 総務管理課

# 1 消防防災

## (1) 市町村消防の現況

管内における消防体制は、4市町村で構成される上田地域広域連合消防本部(8消防署)が設置され、常備消防体制となっている。

消防団員数は、全国的に減少傾向にあるが、管内でも全ての市町村において条例定数を割っており、同時に団員の高齢化も見られる。

消防職員及び消防団員数

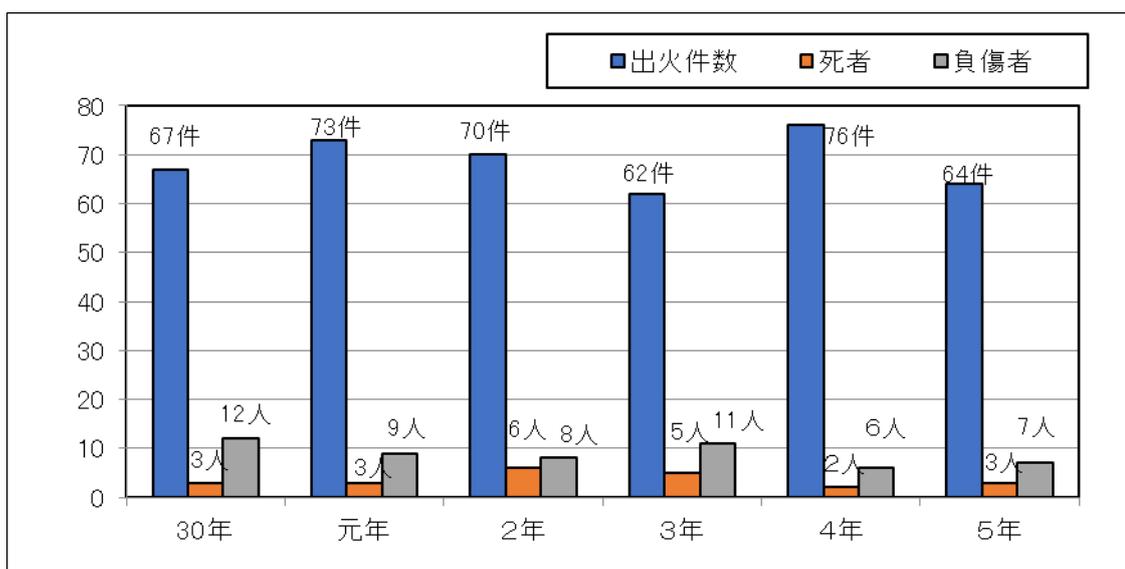
(令和6年4月1日現在)

(※令和5年4月1日現在)

区 分		条例定数(人)	現員数(人)	充足率(%)
消防職員	管内	218	214	98.2
消防団員	管内	3,200	2,774	86.7
	全県※	34,095	29,550	86.7

## (2) 管内火災発生状況

(上田地域広域連合消防本部発表)



## 2 人権

人権問題の解決に向けて平成22年2月に策定された「人権政策推進基本方針」に基づき、人権が尊重される社会づくりを目指して、関係機関等と連携を密にしながら、研修及び啓発活動を推進している。

## 3 男女共同参画

男女共同参画社会の実現のために平成14年12月に施行された「長野県男女共同参画社会づくり条例」及び令和3年6月に策定された「第5次長野県男女共同参画計画」に基づき、研修及び啓発活動を推進している。

## 4 外国人住民数の動向

管内の人口に対する外国人住民の割合は、県内10広域の中で北アルプス、上伊那に次いで3番目に大きい。

### (1) 推移 (単位:人、各年12月末現在、県多文化共生・パスポート室調)

区 分	R元	R2	R3	R4	R5
管 内 (全県の構成 率)	4,664 (12.4%)	4,435 (12.4%)	4,319 (12.4%)	4,685 (12.3%)	4,901 (11.8%)
全 県	37,533	35,777	34,867	38,101	41,536

### (2) 国別内訳(上位5国籍) (単位:人、R5.12月末現在、県多文化共生・パスポート室調)

区 分	合計	中国	ブラジル	ベトナム	インド ネシア	韓国	その他
管 内 (構成比)	4,901 (100%)	996 (20.3%)	769 (15.7%)	545 (11.1%)	438 (9.0%)	324 (6.6%)	1,829 (37.3%)
区 分	合計	中国	ベトナム	フィリピン	ブラジル	韓国	その他
全 県 (構成比)	41,536 (100%)	8,256 (19.9%)	6,426 (15.5%)	5,181 (12.5%)	4,733 (11.4%)	3,040 (7.3%)	13,900 (33.4%)

## 5 消費者対策

消費者取引の適正化及び安全の確保を図るため、製品の安全、品質に対する立入検査を行っている。

### 立入検査実施状況(令和5年度)

区 分		店舗数	検査数	違反件数	備 考
安全 表示	特定製品	2 店舗	9 点	なし	ライター
	特定保守 製 品	1 店舗	2 点	なし	石油給湯器・石油ふろがま
品 質 表 示		8 店舗	102 点	なし	繊維製品・雑貨工業品 等

平成24年度から、立入検査に係る権限が市へ委譲され、当局で実施する検査は町村に所在する店舗が対象となっている。

## 6 交通安全対策

交通事故のない社会を目指して、市町村、関係機関及び団体と緊密な連携のもとに交通安全運動を推進している。

### (1) 交通事故発生状況(1月～12月)

令和5年に管内で発生した交通事故は、死者数は前年を下回り、事故件数、傷者数はともに前年を上回った。

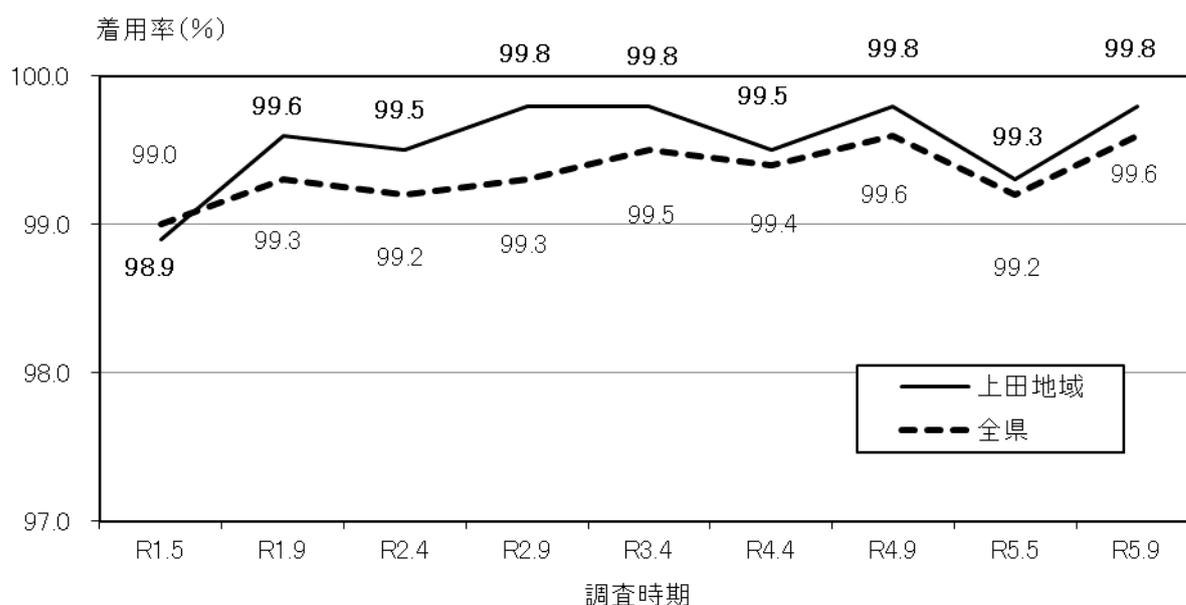
区 分	管 内			全 県		
	事故件数 件	死者数 人	傷者数 人	事故件数 件	死者数 人	傷者数 人
R 5	530	2	623	5,006	42	5,951
R 4	456	7	533	4,752	46	5,611
増減	74	▲5	90	254	▲4	340
増減率	16.2%	▲71.4%	16.9%	5.3%	▲8.7%	6.1%

【出典:くらし安全・消費生活課作成の「交通事故統計(R5.12)、(R4.12)」より】

### (2) シートベルト着用の推進

春・秋にシートベルト着用調査を実施している。管内の着用率は令和5年9月時点で99.8%となっている。

(令和3年9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査中止)



### (3) 交通事故相談

令和5年度相談件数2件（令和4年度 2件、令和3年度 35件）

交通事故相談所上田支所は平成29年度末で廃止となり、現在は長野本所相談員による巡回相談（予約制）を毎月第2・第4水曜日に実施している。

## 7 NPO

NPO相談窓口を設置し、法人設立に関する相談や認証申請書の受付業務等を実施している。県知事から認証された管内のNPO法人数は、令和5年度末で98法人となっている。

### NPO法人数の推移

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管 内 (全県の構成率)	96 (9.5%)	92 (9.3%)	93 (9.5%)	98 (10.1%)	98 (10.1%)
全 県	1,013	994	981	975	966

(小数点第2位を四捨五入)

## 8 旅券

旅券申請件数は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2～3年は大幅に減少したが、令和4年以降は回復傾向にある。なお、県民の利便性を考慮し、火・木曜日については午後7時まで延長して窓口を開設している。また、令和5年3月27日から旅券の更新申請が電子申請で対応可能となった。

### 旅券申請件数の推移

(単位:件・%)

区 分	H31・R1	R2	R3	R4	R5
管 内	5,779 (102.8) [10.9%]	1,601 (27.7) [11.2%]	562 (35.1) [10.8%]	1,189 (211.6) [9.6%]	3,739 (314.5) [10.0%]
うち延長時	675 (94.4) [11.8%]	183 (27.1) [13.4%]	59 (32.2) [15.6%]	138 (233.9) [11.9%]	442 (320.3) [12.0%]
全 県	52,966 (102.9)	14,254 (26.9)	5,194 (36.4)	12,330 (237.4)	37,532 (304.4)
うち延長時	5,720 (109.3)	1,362 (23.8)	377 (27.7)	1,159 (307.4)	3,673 (316.9)

( )は対前年比

下段[ ]は全県構成率

## 9 青少年健全育成

### (1) 健全な社会環境づくり

市町村や関係団体と連携しながら街頭啓発などの広報活動を行うことにより、青少年健全育成の推進と社会環境の浄化に努めている。

青少年に有害な自動販売機の設置状況 (各年11月末日現在)

区分	R2		R3		R4		R5	
	台数	箇所	台数	箇所	台数	箇所	台数	箇所
上田市内	6 (7.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 ( )	0 ( )
全 県	79	18	63	12	52	10	(データなし)	

( )内の数値は全県構成率(%) ※本調査は、R4をもって一旦休止のためR5の全県数値なし。

### (2) 将来世代応援県民会議上田地域会議

上田地域の将来を担う子どもや若者を育成するために、地域に根差した取り組みを推進している。

(設 置) 平成29年9月

(構 成) 県・市町村、社会福祉協議会、青少年育成関連団体など21団体

(活 動) 令和5年度は、5年ぶりに地域会議を開催し、構成団体等と情報共有等を行った。また、地域会議を構成員に向けて合同庁舎で行われるフードドライブへの協力を依頼した。集まった食品は地域内のこどもカフェや日本語教室など子どもの居場所に贈った。

## 10 信州こどもカフェの推進

関係団体の連携・情報交換の場として、「信州こどもカフェ推進上田地域プラットフォーム」を設置し、地域一体となって子どもの居場所づくりを推進している。

(プラットフォーム開設) 平成29年12月

(参加者) こどもカフェ運営者、子ども支援関係団体、県・市町村等

(活 動) 令和5年度は、地域で子どもを育むプロジェクト助成事業(県社協)と長野ろうきん・こども基金助成事業を活用して、①こどもカフェとプラットフォームメンバーとの情報交換会(PF全体会)「令和4年度の取組状況と課題の共有」の開催、②長野県長寿社会開発センター主催「信州ねんりんピック」への紹介ブース設置、ワークショップ参加、③プラットフォーム主催事業「ゆめパのじかん」上映会&竹内延彦氏講演会の開催等を通じて、こどもカフェとこどもの支援に多角的に取り組んだ。

## ○ 信州こどもカフェ

学習支援、食事提供、悩み相談、学用品のリユースなど、家庭機能を補完する複数の機能を持つ子どもの居場所の総称である。

管内では、令和5年度末現在、17ヵ所で運営されている。

## 11 危機管理への対応

### 新型コロナウイルス感染症への対応

#### (地方部設置)

- ・ 令和2年1月29日 長野県新型コロナウイルス感染症対策本部  
上田地方部設置
- ・ 令和2年3月26日 特措法に基づく県対策本部上田地方部設置
- ・ 令和5年5月8日 長野県新型コロナウイルス感染症警戒・対策本部  
上田地方部設置

#### (主な対応)

- 管内市町村への支援及び連絡調整
  - ・ ワクチンチームの設置 (R3.2.3)  
(住民接種に係る課題等を聴取)
  - ・ ワクチン接種体制整備連絡会議の設置 (R3.2.10)
- 保健所支援
  - ・ 兼務職員、業務補助当番の派遣
  - ・ PCR検査、疫学調査補助
  - ・ 感染動向、陽性者データ入力、分析
  - ・ 検体搬送業務の支援
  - ・ HER-SYS 入力支援
- 広報・啓発 (ガイドライン周知・推進チーム)
  - ・ 歓楽街の店舗を個別訪問し、感染防止対策の徹底等呼びかけ  
(令和2年度：5回、令和3年度：10回実施)
  - ・ 街頭啓発 (令和3年度：上田駅、商業施設及び管内道の駅にて実施)
  - ・ 集客施設における館内放送依頼 (上田駅3鉄道事業者、大型商業施設等)
  - ・ 上田駅にタペストリー、合同庁舎に懸垂幕掲出 (地域振興推進費活用)
  - ・ 広報車による巡回
  - ・ 道路電光表示板による広報 (建設事務所に依頼)
  - ・ ブログによる情報発信 (随時)
- 産業・雇用 総合サポートセンターの設置 等

#### 【まん延防止等重点措置期間中 (R4.1.27~3.6) の主な対応】

- 飲食店の時短要請への対応
  - R4.1.27~29 1,799店 (外部委託等による外観調査)  
60店 (電話及び現地調査)
  - R4.2.22~3.4 44店 (情報提供があった店舗の現地調査)

# 企 画 振 興 課

## 1 市町村行財政運営

地方分権時代にふさわしい自主・自律的な自治の確立を求められている市町村において、地域住民との協働を図りつつ、透明性の高い行政運営、健全な財政運営が行われるよう、定員管理、給与実態、財政状況などの各種調査を通じて、各団体の状況を把握するとともに、必要に応じて助言を行っている。また、広域行政についても、上田地域広域連合や上田地域定住自立圏が主催する各種会議への参画等を通じ、必要な助言や情報提供を行っている。

区分		上田市	東御市	長和町	青木村	県内市町村 平均	
職員数	人	1,005	234	79	48	-	
平均給与月額	百円	3,246	3,083	3,166	3,117	3,155	
	平均年齢	歳	42.3	41.6	42.7	43.3	-
ラスパイレス指数		99.4	98.2	97.6	95.9	97.5	
歳入総額	千円	76,452,042	16,975,445	7,275,941	3,309,342	15,461,804	
	市町村税	千円	22,111,519	4,168,054	748,834	422,959	4,007,662
	比率	%	28.9	24.6	10.3	12.8	25.9
	地方交付税	千円	15,394,370	4,814,007	3,046,510	1,737,156	3,758,837
	比率	%	20.1	28.4	41.9	52.5	24.3
歳出総額	千円	73,656,302	16,138,955	7,111,516	2,978,006	14,784,409	
	人件費	千円	12,108,763	2,957,596	911,010	726,268	2,362,307
	比率	%	16.4	18.3	12.8	24.4	16.0
	公債費	千円	6,646,448	1,951,836	692,872	178,104	1,383,015
	比率	%	9.0	12.1	9.7	6.0	9.4
標準財政規模	千円	40,430,736	9,235,803	3,794,226	2,195,351	8,207,120	
地方債現在高	千円	64,033,993	17,958,188	6,197,437	1,638,349	11,744,598	
積立金現在高	千円	21,692,811	4,904,821	3,246,262	1,976,729	6,245,584	
	財政調整基金 現在高	千円	4,173,814	2,054,705	1,767,228	1,039,336	2,287,731
財政指標	経常収支比率	%	89.7	92.4	81.4	78.7	86.5
	実質公債費比率	%	5.2	9.6	10.3	7.5	6.3
	財政力指数		0.59	0.48	0.22	0.22	0.38

(注)1 「職員数」、「平均給料月額」、「平均年齢」については、「令和5年地方公務員給与実態調査」による一般行政職員(企業職員等を除く)の数等である。

2 「歳入総額」以下の財政状況の各項目については、「令和4年度決算統計調査」による。

## 2 地域振興

### (1) 地域振興推進費

地域振興局長のリーダーシップのもと、他の現地機関と連携調整を図りながら、地域課題の解決や地域の活性化等に向けた取組を実施する。

#### 【 令和5年度実績 】

1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり				
① 地域と一体となった観光需要の回復				
事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課
上田地域広域観光推進事業	<p>1 観光動向調査 コロナ禍前後の観光客の人数・属性・行動を調査・分析する。得た結果を活用し、効果的な観光PR方法や、広域の観光ルートの検討等を行う。また、市町村・観光協会とも情報共有を行い、それぞれの観光振興の取組に活用してもらう。</p> <p>2 観光キャンペーンの実施 市町村や観光協会と連携し、集客力のある施設等において上田地域の観光キャンペーンを実施し、地域内の観光地、ワインや伝統的工芸品等の特産品を広くPRして認知度を高める。</p>	1,331	<p>1 観光動向調査 ・「KDDI Location Analyzer」を利用し、「管内市町村観光施設」、「管内道の駅」、「管内主要駅+県内主要駅」におけるコロナ禍前後の人流データを取得した。性別・年代・来訪地といった来訪者の属性や年間における来訪者数、データ取得地間の相互利用率などを把握・分析し、市町村・観光協会、道の駅へ情報提供を行った。県の観光振興の取組に反映するとともに、各市町村へデータ提供後アンケートをとったところ、全ての市町村から、キャンペーン・プロモーションの企画立案やイベントのフィードバックに今後活かしたいとの回答を得た。</p> <p>2 観光キャンペーンの実施 1回目：10月14日(土) 上里SA(下り) 2回目：12月14日(木)15日(金) 銀座NAGANO ・各キャンペーンでは地域のパンフレット配布に加え、特産品の試食を提供することで、広く地域のPRを行った。上里SAでは地域おこし協力隊による特産品の販売、銀座NAGANOのイベントでは地域のヴィンヤード5者+日本酒4蔵(長野県観光機構協力)による有料試飲など、官民連携でのPRができた。 また、銀座NAGANOでは、地域の特産品を景品とした各市町村の観光PRを聞いた来場者が参加する抽選会を行い、87名が参加した。</p>	商工観光課
上小地域観光地域づくり推進事業	<p>・地域の観光資源を活用した広域的な観光誘客の取組を官民一体となって推進するため、上小地域観光戦略会議を設置するとともに、重点課題の解決を図るため分科会を組織し、魅力ある観光地域づくりを推進する。</p>	260	<p>・令和5年12月20日に分科会を開催し、上小地域観光戦略会議構成団体に今後の取組内容について共有を図るとともに、(株)ぐるなび 社長室室長 家中みほ子氏を講師としてガストロノミーツーリズムに関する講演会を開催し、一般参加者を含め40名の参加があった。</p> <p>・地域食材の活用を促進するため、令和6年1月30日に「“ストーリーを学ぶ”生産者ツアー」を初開催し、飲食・宿泊事業者等16名が参加した。</p> <p>食の生産現場を視察しながら、生産者から直接生産ストーリーを学び、地域食材への理解を深めるとともに生産者との繋がりづくりをしていただいた結果、目標値以上の商談件数となり、現状で5件の商談が成立していることから、地域食材の活用につなげることができた。</p>	商工観光課
【松本地局実施】 信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	<p>・松本空港を利用して来県する旅行者の周遊、滞在及び消費の促進を図るため、レンタカー利用者に配布する観光パスポート(信州まつもと空港発「レンタカーDeぐるっ得パス」)のアップデートに伴い、上田地域を対象エリアに追加する。</p>	200	<p>・「レンタカーDeぐるっ得パス」の改訂版に上田地域のエリア紹介及び特典提供協力店舗を掲載した(店舗数に応じた費用を上田地局で負担)。</p> <p>・上田管内の新観光パスポート掲載(特典提供協力)店舗数：9店舗</p> <p>・利用者の属性(年代や居住地等)や利用状況を把握し、現状分析をするための特典利用調査システムを構築した。</p>	松本地域振興局 企画振興課
農産物直売所魅力アップ支援事業	<p>・取扱品目や出荷者の拡大支援に加え、集客力の拡大に向け、上田地域の直売所に共通する課題の解決を目的とした事業とともに、農業と観光業を“つないだ”情報発信アイテムの作成について検討する。</p>	116	<p>①東御市内の開設間もない農産物直売所への経営アドバイス及び実践支援により主力の出荷農産物づくりを行った。</p> <p>②端境期の野菜出荷を目指した調査研究を実施しデータ取り等ができた。</p> <p>③各直売所から事前に研修要望などを聴き取り、それらを盛り込んだ研修内容で魅力アップセミナーを開催することができた。</p> <p>④観光情報等も盛り込んだ農産物直売所マップの電子媒体化に向けた検討を関係者と開くことができた。</p>	農業農村支援センター

2 地域を支える産業のグレードアップ

① 持続可能な産業の実現に向けた取組

事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
にぎやかな森プロジェクト	・持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図るとともに、地域の林業経営者等へ成果を普及啓発する。	674	①調査研究の連携団体とともに、年間を通じて調査研究活動を行い、最後に成果報告会を開催し、支援企業や関係団体に普及啓発をした。 ・調査研究活動 15者 (38名) ・調査研究成果報告会 28者 (63名)  ②令和3年度から始まった当プロジェクトの趣旨に賛同する企業2社と新たに森林の里親協定を締結し、支援企業は14社になった。(協定締結式1回開催)	林務課
求職者・就職困難者等に対する就労サポート事業	・上田地域での就労促進や産業人材の確保のため、特に女性を対象とした就労等に関する相談会やセミナーを実施するとともに、就労支援制度に関する情報提供等を行う。	85	・就労セミナー(令和5年10月20日開催)は11名参加、個別相談会(令和6年2月9日開催)は5名参加、計16名の参加となり、目標値には達しなかった。 終了後アンケートでは、全ての参加者から「満足」または「どちらかといえば満足」との回答を得た(アンケート回答率87.5%)。また、「就労に関する悩みが整理出来てよかった」、「上田地域における就労支援のためのイベントや相談窓口について情報を得ることが出来てよかった」、「今後も行政等の就労支援制度を利用したいと思う」といった回答も見られた。 ・今回は、市町村・ハローワーク上田・地域就労支援センター事務局といった、地域の就労支援機関と連携の上、事業を実施することが出来た。今後も各機関における役割を活かしながら、就労困難者等への情報提供や支援等を実施していく必要があると考える。	商工観光課
伝統的工芸品の魅力発信・再発見事業	・上田地域の伝統的工芸品の価値や魅力を発信・再発見するために、各種展示会やブログを通じて広く周知するとともに、販売促進等を行う。	324	上田地域産業展2023において上田地域の伝統的工芸品である上田紬、長野県農民美術、長野県手作り打上花火をPR 開催日 令和5年11月2日(木)、3日(金:祝日) 開催時間 9:30~16:00 実施内容 「上田地域の伝統的工芸品」PRブース設置 ・製作体験会 ・製品、パネルの展示PR ・ノベルティとして上田紬の缶バッジを手作りにより作成し、ブース来場者へ配布  ・ブース来場者500人(ノベルティ(上田紬缶バッジ)配布数) ・ブースに来場し、アンケート調査にご協力いただいた方(173名)の内、打上花火、農民美術、上田紬が当地域の伝統的工芸品であることを認識していなかった方の割合は、各80%、43%、29%であったが、今回の事業を通してそれらの方に認識してもらうことができた。	商工観光課
上田地域の短期大学との連携による地域で活躍する人材定着促進事業	・上田女子短期大学と連携して、上田地域の中学生を対象としたキャンパスツアーの開催やイベントの共同広報を行うことで、4年制大学にはない両校の魅力発信し、地域産業を支える人材の育成につなげる。	68	・上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアーを開催 将来就きたい仕事がイメージできるキャリア教育の機会としてキャンパスツアーを開催。 ・工科短期大学校では、機械システム学科による3Dプリンターで作成した手動扇風機で歯車の仕組みのレクチャーを受け、知能情報システム学科によるプログラミング体験でスマホアプリを作成。 ・上田女子短期大学では、幼児教育学科による自然物で食べ物を作る「森のレストラン」の模擬授業を受講。短大の裏山で草をちぎったり、土を丸めたりして「料理」を作りポイントを発表。 9名の参加者の中からは、「機械に興味はなかったが面白かった」「司書を目指していたので参加して気持ちが明確になった」などの感想があった。	工科短期大学校

② 世界基準を見据えたワイン産地づくり				
事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課
上田地域ワイン振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞折込広告の実施 ワインのギフト活用を提案する広告を作成し、クリスマス・お歳暮前の11月末に新聞折込により管内4市町村の新聞購読世帯に配布する。</li> <li>・販売情報リーフレットの増刷 管内の生産者のワインとその販売情報をまとめたリーフレットについて、R4年度発行分の在庫がなくなるため、増刷しワイン販売店等に配布する。</li> </ul>	873	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワインのギフト活用を提案する広告を作成し、令和5年11月26日(日)の朝刊折込により管内4市町村の約54,000世帯に配布し、消費拡大を促した。</li> <li>・終了後、効果に関する調査を行ったところ、掲載者の3割は広告効果による売上あり、3割は売上なし、4割は不明との回答であった。</li> <li>・管内のワインの販売情報をまとめたリーフレットを増刷し、観光施設やワイン販売店等へ配布し、認知度の向上を図った。</li> </ul>	商工観光課
ワイン用ぶどう生産支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界基準を見据えたワイン産地」の早期実現に向け、農業分野から、原料用ぶどうの品質や生産量の更なる向上を図るため、生産者技術セミナーやスマート農業の普及実証、脱炭素社会に向けた取組の推進などにより栽培技術の普及・定着や栽培者間の情報交換を促進する。</li> </ul>	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者技術セミナーは、1月に栽培技術及び経営管理力の向上を図るため、今回は農薬や化学肥料の使用を低減した農法に迫るべく、有機農法(有機栽培)に取り組んでいるワイナリーの栽培責任者から主に防除方法について詳しく研修することができた。ただし、当初計画したスマート農業やゼロカーボン推進に向けた取組は、年度末の多忙期に差し掛かってしまったことと雨天日が多かったことなどにより実施に至らなかった。</li> <li>・各作業ステージにおける病害対策は予防防除を、虫害対策は耕種防除(草刈、粗皮削りなど)を組み合わせて実施して総合的に防除に取り組むことが農薬使用総量を抑え、よりブランド力を高められるワイン醸造につながる習得ができた。環境負荷低減対策技術推進の機運は継続していくよう努めたい。</li> </ul>	農業農村支援センター
3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり				
① 医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援				
棚田の学校子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の原風景である棚田での農業体験等について、発達障害や不登校児童が社会とふれあう場としての活用方法を検討するため実証実験を行い、課題の抽出を行う。</li> </ul>	301	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業体験は、天候により、開催日が延期になったり、当日のキャンセルなどで参加者が少なかったが、参加者は、受入側の丁寧なサポートにより、主体的に取り組む様子が見られた。</li> <li>・農村体験は、大勢は苦手、予測つかないことは怖いなどの様々な症状のある児童生徒が対象であることから、受入側からの提案により、全員で取り組むのではなく、自由に各々活動できる内容で開催したところ、目標値(各10人)を上回る11人の参加があった。開催時間も午前(10:00~12:00)で2回を想定したが、時間にゆとりができるよう1回で1日(10:00~15:00)でイベントを開催した。</li> <li>・毎回イベント終了後は、参加者同士で遊ぶようになっており、棚田の自然環境が緊張感を解いてくれたようだった。</li> <li>・参加した保護者からは、久しぶりに生き生きとした子供の姿が見れてよかった、育児ストレスが少し軽くなったなどの好評をいただいた。</li> <li>・棚田での交流は、児童生徒だけでなく保護者も短時間だけでもその緊張が軽減され支援につながった。</li> <li>・アンケート結果から、興味を示している子どもが多いことから、棚田での体験は、棚田スタッフ、また参加者同士の交流により、子どもたちの社会性スキルアップに効果があったと思われる。</li> </ul>	農地整備課
健康長寿の運動セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の運動実施率の向上と健康長寿の延伸を目指して、ニーズに応じた運動講座の開催や各種団体等が主催する運動教室開催の支援を行い、運動習慣の定着や健康増進活動の促進を図る。</li> </ul>	214	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運動教室への講師派遣事業 主催団体のニーズに応じた講師派遣ができた。配信動画の視聴者から動画内容を講座で扱ってほしいという依頼が上小地区と佐久地区ともにあった。</li> <li>②健康運動の動画制作・配信 当所の公式YouTubeチャンネルにて、健康動画を配信し視聴者の運動促進を図った。健康体操動画を短時間のシリーズで制作したことにより、連続で視聴する等他の動画視聴にもつながっていると考えられる。今後も動画講師による運動教室開催へとつなげていく。</li> <li>③運動用具の整備及び貸出 当所ホームページへの用具一覧や写真の掲載やチラシでの宣伝で、多くの団体へ貸出ができた。</li> <li>④ポールウォーキング講座の開催 新たに上田城跡公園内コースを計画したが雨天中止となった。運動教室の内容にボッチャのニーズが高いため、ボッチャ体験・講習会の開催も計画する。</li> </ul>	東信教育事務所

② 移住の促進、つながり人口の創出・拡大				
事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
長和町における共創人口構築事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長和町では移住者の受入環境が十分とはいえないことから（一時的な住まい、仕事の選択肢、若者が集まる場がないなど）、和田宿とその周辺の空き家を活用したDIY及びマーケットイベントを実施することにより関係人口の増加を図り、将来的に同地域で生業を興す若者の増加や空き家等遊休資産の活用につなげる。</li> </ul>	461	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月11、12日に空き家の清掃イベント及びマーケットイベントで使用するテーブルや看板を作成するワークショップを実施し、延べ40人が協働して作業に取り組んだ。</li> <li>・11月26日にマーケットイベント「ナワメマーケット」を開催し、企画に賛同した県内外の古着や雑貨、飲食物を扱う事業者等計27店舗が出店した。また、当日は地元や周辺地域、県内外から多くの来訪者があり、参加人数は約1,000人と当初の目標を大幅に上回った。</li> <li>・マーケットイベントの実施を通じて、和田宿に若者が集い、賑わう姿を再現することができた。このような取組を継続することが、地域の担い手として主体的に関わる人と呼び込むことにつながり、地域の活力を取り戻す契機となると考える。</li> </ul>	企画振興課
4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり				
① 太陽光・小水力発電等の普及啓発や、具体的な実践に繋がるゼロカーボンの取組の情報発信				
地球温暖化対策及びゼロカーボン実現に向けた断熱講習会開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策の一つである建物断熱化の取組を地域に広めることにより、省エネ、ゼロカーボンが推進されることを目指して、断熱講習会（講演及びワークショップ）を開催する。</li> </ul>	285	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年1月20日（土）に「断熱改修はじめての一步」を以下の内容で開催した。</li> <li>○第一部 13:00～14:20（上田合同庁舎講堂）参加者 64名 講演 「断熱改修はじめての一步」 講師 木下史朗さん（断熱推進イニシアチブ合同会社代表） ミニレクチャー 「ホームセンターの内窓キットDIYのツボ」 講師 窪田智文さん（有限会社クボケイ 建具・家具担当）</li> <li>○第二部 14:40～16:30（地域振興局301会議室にホームセンターで購入した内窓キットを設置）参加者30名 内窓キットDIYワークショップ 講師 窪田智文さん（有限会社クボケイ 建具・家具担当）</li> <li>・地球温暖化やエネルギーコスト上昇による社会情勢により省エネへの意識が高まるなか、身近なホームセンターで材料を購入することによりコストを抑えた内窓設置という実現性、即効性の高い対策が提案できた。参加者満足度が高く、住民のニーズに合致した企画であった。</li> <li>・301会議室は内窓を設置したことにより窓の表面温度が5～10度上昇。この断熱効果により冷暖房の消費量が抑えられることとなり、省エネ、二酸化炭素排出量削減に貢献した。</li> </ul>	環境課
合計		5,239		

※事業費は、千円未満切捨て

【 令和6年度計画 】

事業名	事業概要	担当課
1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり		
① 地域と一体となった観光需要の回復		
上田地域広域観光推進事業	上小地域観光戦略会議を軸とした地域を巻き込んだ観光振興 1 個別課題解決事業 ・地域の食材を活かした観光地域づくりの推進 （分科会の開催、食の生産者ツアーの実施） ・サイクルツーリズムの機運醸成 2 道の駅連携促進事業 ・道の駅周遊イベントの実施 3 観光誘客促進事業 ・観光キャンペーンの実施 ・インバウンドの促進	商工観光課
【松本地局実施】 信州まつもと空港利用 振興事業	松本空港を利用して来県する旅行者（レンタカー利用者）に対し「レンタカーDeぐるっ得パス」を配布することにより周遊観光を促進するとともに、利用者データを収集する。（上田地域の掲載店舗等に応じた費用を負担。）	松本地域振興局 企画振興課
農産物直売所魅力アップ 支援事業	取扱品目や出荷者の拡大支援に加え、集客力の拡大に向け、管内直売所の共通課題の解決に向けた事業とともに、農業と観光業を“つないだ” 情報発信アイテムを作成する。	農業農村支援センター
2 地域を支える産業のグレードアップ		
① 持続可能な産業の実現に向けた取組		
にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図るとともに、地域林業経営者等への成果を普及啓発する。	林務課
若者の心を掴め！上田 のお仕事魅力発信サ ポート事業	「若者への事業PR力」向上のための事業者向け学習会を開催し、関係機関と連携しながら事業者の「若手人材の採用力」を強化することで、産業人材の確保に努める。	商工観光課
伝統的工芸品の価値・ 魅力再発見×発信による 販路拡大事業	観光客や地域住民を対象とした制作体験会の実施や、現代の生活スタイルにマッチした活用方法等を提案することにより、伝統的工芸品の価値・魅力を再発見してもらい、販路拡大につなげる。	商工観光課
上田地域の短期大学の 連携による地域で活躍 する人材定着促進事業	上田女子短期大学と連携して、上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアー開催等により4年制大学にはない両校の魅力発信し、地域産業を支える人材の育成につなげる。	工科短期大学校
② 世界基準を見据えたワイン産地づくり		
上田地域ワイン振興事 業	ワインを機軸とした観光誘客を推進するため、ワイン・ツーリズムサポート人材の育成講座を開設する。	商工観光課
ワイン用ぶどう生産支 援事業	ワイン用ぶどう栽培者の経営安定やワインの評価につなげるための原料ぶどうの品質と収量の向上につながる栽培技術の指導・支援に取り組む。	農業農村支援センター

事業名	事業概要	担当課
3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり		
① 医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援		
棚田の学校子育て支援事業	農業資産である棚田について、発達障害や不登校児童が社会とのふれあいの場として活用する方法を検証するため、児童を棚田オーナーとして招待し、田植えや稲刈り等実践し、受入れ側出し手側双方の課題を抽出する実証実験を行う。	農地整備課
健康長寿の運動セミナー	成人の運動の習慣化と健康長寿を目指して、運動教室への講師派遣、体験講習会の開催、運動用具の整備及び貸出等を実施する。	東信教育事務所
人と猫との共生社会の構築事業	人と猫の問題について情報発信し、関係機関との連携構築と地域住民の意識の醸成を図る。	保健福祉事務所
② 移住の促進、つながり人口の創出・拡大		
青木村における移住・定住促進事業	青木村における移住者マルシェ等の開催を通じて、青木村移住者と地元住民及び新規移住希望者の3者交流を図り、新規移住者の取り込みを進めるとともに既存移住者の生業確保・定住促進につなげる。	企画振興課
4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり		
① 持続可能な脱炭素社会に向けた取組の推進		
地球温暖化対策及びゼロカーボン実現に向けたDIYワークショップ	地球温暖化による暮らしの変化や生活を守るための「緩和」「適応」策として取りかかりやすい建物（内窓）断熱という内容で令和5年度に開催して好評を得た断熱講習会をワークショップメインで実施する。	環境課

## (2) 地域発 元気づくり支援金

市町村や公共的団体が住民とともに自らの知恵と工夫により、自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対し、必要な経費を支援する。

### 【 令和5年度実績 】

次のとおり、30団体に対し、31件、55,477千円の支援を行った。

#### ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
1 地域協働の推進	5	14,553
2 保健、医療、福祉の充実	3	4,171
3 教育、文化の振興	6	9,144
4 安全・安心な地域づくり	1	644
5 環境保全、景観形成	3	1,677
6 産業振興、雇用拡大 小計	12	24,843
6-1 特色ある観光地づくり	5	10,278
6-2 農業の振興と農山村づくり	2	4,732
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0
6-4 商業の振興	2	3,299
6-5 その他	3	6,534
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	445
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	1	(事業廃止) 0
合 計	31	55,477

#### イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
市 町 村	2	1,541
上 田 市	1	492
東 御 市	0	0
長 和 町	1	1,049
青 木 村	0	0
広 域 連 合	0	0
公 共 的 団 体	29	53,936
合 計	31	55,477

【 令和6年度採択状況 】

32団体から33件、84,226千円の要望があり、次のとおり事業の選定を行った。

令和6年5月1日現在

ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
1 地域協働の推進	2	6,989	2	6,989
2 保健、医療、福祉の充実	4	7,375	3	4,163
3 教育、文化の振興	7	18,842	4	7,797
4 安全・安心な地域づくり	0	0	0	0
5 環境保全、景観形成	3	5,372	2	3,820
6 産業振興、雇用拡大 小計	16	43,111	10	25,653
6-1 特色ある観光地づくり	10	30,370	6	14,676
6-2 農業の振興と農山村づくり	3	3,356	1	1,592
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0	0	0
6-4 商業の振興	1	2,773	1	2,773
6-5 その他	2	6,612	2	6,612
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	1	2,537	1	2,537
合 計	33	84,226	22	50,959

【再掲】重点的に推進するテーマ

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
【県全域重点テーマ】	4	10,416	1	1,867
女性若者から選ばれる県づくり	1	6,074	0	0
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	3	4,342	1	1,867
【地域重点テーマ】	26	67,652	19	46,152
上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり	14	36,481	9	23,908
地域を支える産業のグレードアップ	4	12,621	3	6,906
医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援の推進	5	11,407	4	8,195
移住の促進、つながり人口の創出・拡大	3	7,143	3	7,143
合 計	30	78,068	20	48,019

イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
市 町 村	4	6,198	3	4,646
上 田 市	0	0	0	0
東 御 市	2	3,200	2	3,200
長 和 町	0	0	0	0
青 木 村	2	2,998	1	1,446
広 域 連 合	0	0	0	0
公 共 的 団 体	29	78,028	19	46,313
合 計	33	84,226	22	50,959

### 3 選挙

選挙の執行に際し、県及び市町村選挙管理委員会と連携して適正な管理執行事務を行うとともに、より多くの投票参加が図られるよう啓発事業を行った。

#### (1) 最近の執行状況

##### ア 参議院議員通常選挙（令和4年7月10日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 R1〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	62,454	65,953	128,407	34,968	36,317	71,285	55.99	55.06	55.51	54.68
東御市	12,237	12,509	24,746	7,258	7,316	14,574	59.31	58.49	58.89	56.91
長和町	2,527	2,571	5,098	1,709	1,705	3,414	67.63	66.32	66.97	66.05
青木村	1,755	1,867	3,622	1,206	1,282	2,488	68.72	68.67	68.69	67.80
管内計	78,973	82,900	161,873	45,141	46,620	91,761	57.16	56.24	56.69	55.70
県計	836,517	884,852	1,721,369	488,453	504,861	993,314	58.39	57.06	57.70	54.29

##### イ 長野県知事選挙（令和4年8月7日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 H30〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,938	65,450	127,388	23,356	25,577	48,933	37.71	39.08	38.41	41.50
東御市	12,102	12,406	24,508	5,022	5,278	10,300	41.50	42.54	42.03	44.25
長和町	2,504	2,555	5,059	1,348	1,383	2,731	53.83	54.13	53.98	55.34
青木村	1,730	1,846	3,576	987	1,099	2,086	57.05	59.53	58.33	62.12
管内計	78,274	82,257	160,531	30,713	33,337	64,050	39.24	40.53	39.90	42.85
県計	829,124	877,558	1,706,682	336,322	362,413	698,735	40.56	41.30	40.94	43.28

##### ウ 長野県県議会議員一般選挙（令和5年4月9日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 H31〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,243	64,761	126,004	26,437	28,540	54,977	43.17	44.07	43.63	46.68
東御市	12,021	12,294	24,315	6,235	6,484	12,719	51.87	52.74	52.31	-
長和町	2,489	2,514	5,003	1,379	1,357	2,736	55.40	53.98	54.69	58.22
青木村	1,710	1,832	3,542	1,084	1,162	2,246	63.39	63.43	63.41	66.70
管内計	77,463	81,401	158,864	35,135	37,543	72,678	45.36	46.12	45.75	47.67
県計	585,145	620,859	1,206,004	261,880	274,382	536,262	44.75	44.19	44.47	47.57

(2) 選挙人名簿登録者数（令和6年3月1日現在）

区 分	選挙人名簿登録者数			在外選挙人名簿登録者数		
	男	女	計	男	女	計
上田市	61,809	65,238	127,047	50	65	115
東御市	12,080	12,346	24,426	12	7	19
長和町	2,472	2,479	4,951	4	3	7
青木村	1,728	1,818	3,546	2	2	4
管内計	78,089	81,881	159,970	68	77	145

# 環 境 課

# 1 地球温暖化対策

2050ゼロカーボンの実現に向けて、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、啓発活動に取り組んでいる。

## (1) 既存住宅エネルギー自立化補助金

県民が認定事業者の販売・施工を通じ既存住宅に太陽光発電システム及び蓄電システムを設置する場合、その費用の一部を補助している。

《補助実績件数》

補助区分	管内		長野県	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
太陽光+蓄電池	17	35	216	332
蓄電池のみ	75	69	459	509
太陽光+蓄電池+V2H		0		9
太陽光+V2H		4		10
蓄電池+V2H		2		22
V2Hのみ		14		106
計	92	124	675	988

※ V2H：電気自動車、プラグインハイブリッド自動車への充電、並びに電気自動車、プラグインハイブリッド自動車から施設への放電（給電）ができる施設

## (2) 再生可能エネルギー普及総合支援事業補助金

事業者が地域金融機関等と連携して行う固定価格買取制度(FIT)を活用した自然エネルギーの発電事業の経費の一部を補助。FITにより生じた売電収益の一部を県に納付する収益納付型補助制度。

《管内補助実績》

年度	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)	事業概要	売電開始年月日 (納付開始年度)
H29	9,684,640	2,421,000	民間信託を活用した住宅の屋根等への太陽光発電施設設置	平成29年11月29日 (令和2年度)
	15,531,500	3,882,000	民間信託を活用した公共施設の屋根への太陽光発電施設設置	平成30年3月22日 (令和3年度)
	16,255,050	4,063,000	民間信託を活用した農地での太陽光発電施設設置	平成30年5月29日 (令和3年度)
R2	9,789,600	2,447,000	地元金融機関融資を利用し営農型太陽光発電所を水田に設置	令和3年5月29日 (令和5年度)

## (3) 太陽光発電設備等(太陽光・蓄電池)共同購入事業 グループパワーチョイス

太陽光のみ購入、太陽光と蓄電池購入、蓄電池のみ購入の3パターン。

全県で令和4年度は142件、令和5年度は78件（うち上田管内12件）が契約。

## (4) 地球温暖化対策及びゼロカーボン実現に向けた断熱講習会開催事業

令和5年度は「断熱改修ははじめの一步」を、令和6年1月20日(土)に開催。

ゼロカーボンを推進しつつ地球温暖化による健康被害を防げるよう、本事業を開催。

第1部は温暖化対策に有効な断熱をテーマにした講演と内窓ミニレクチャー

第2部は比較的安価な材料による断熱手法の普及のため、内窓DIYワークショップ  
上田合同庁舎301会議室の窓に、内窓キットにより、参加者によるDIYで内窓を設置。  
参加者数は講演会で64名、内窓DIYワークショップは30名。

## 2 環境保全対策

### (1) 大気保全等対策

#### ア 大気関係立入検査状況

大気汚染防止法及び良好な生活環境の保全に関する条例に基づき、立入検査を実施している。

《対象施設等数及び立入検査状況》 (令和5年度)

区	分	対象施設等数	立入検査件数	指導件数
大気汚染防止法	ばい煙	304	9	3
	粉じん	149	9	2
	アスベスト除去	5	10	5
	水銀	12	2	0
	揮発性有機化合物	5	1	0
良好な生活環境の 保全に関する条例	ばい煙	0	0	0
	粉じん	120	0	0
合	計	595	31	10

#### イ ダイオキシン類対策

ダイオキシン類特別措置法に基づき、特定施設設置者が行った濃度測定結果等を基に、排出基準への適合状況を定期的に確認している。

《特定施設届出及び測定結果報告状況》 (令和5年度)

区	分	届出施設数	測定結果報告件数	基準超過件数
大気関係	アルミニウム合金製造施設	8	8	0
水質関係	下水道終末処理場	1	1	0
合	計	9	9	0

※アルミニウム合金製造施設で令和5年度に設置届出書の提出があった3施設については、稼働後に測定結果報告がされる見通し。  
(施設数にカウントしていません。)

### (2) 水環境保全対策

水質汚濁防止法及び良好な生活環境の保全に関する条例に基づき、特定施設を設置する事業場に対して立入検査を実施している。

《水質関係立入検査状況》 (令和5年度)

区	分	届出事業場数	立入検査件数	指導件数
水質汚濁防止法		1,044	23	4
良好な生活環境の保全に関する条例		34	0	0
合	計	1,078	23	4

### (3) 土壌汚染対策

土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査の結果、汚染状態が基準に適合しない場合は、健康被害のおそれの有無に応じて区域指定されます。

《区域指定の状況》 (令和6年3月31日現在)

区分	要措置区域	形質変更時要届出区域
指定件数	1	4

(4) 公害苦情処理状況

公害苦情処理要領に基づき、公害苦情、相談に対応している。

《公害苦情件数》

(令和5年度)

公害の種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	悪臭	その他	合計
件数	2	21	0	0	1	24

(5) 水道対策

管内の水道の普及率は令和2年度末現在99.4%で、「安心でおいしい水」の確保のため水道施設等の指導に努めている。

《水道施設等状況》

(令和6年3月31日現在)

区分	上水道	簡易水道	飲料水供給施設	簡易給水施設	合計
施設数	2	3	1	0	6

(注) 上水道：計画給水人口が5,001人以上の水道

(上田上水道及び企業局諏訪形浄水場は国認可のため対象施設から除外)

簡易水道：計画給水人口が101人以上5,000人以下の水道

専用水道：寄宿舍・住宅等における自家用水道

飲料水供給施設：給水人口が50人以上100人以下の給水施設

簡易給水施設：給水人口が概ね20人以上50人未満の給水施設

(6) 生活排水対策

ア 生活排水の処理

生活排水は、公共下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽により処理されている。

《汚水処理人口及び同普及率》

(令和5年3月31日現在)

区分	人口(人)	汚水処理人口(人)				普及率(%)			
		公共・特環下水道	農業集落排水施設等	浄化槽、コミュニティ・プラント	計	公共・特環下水道	農業集落排水施設等	浄化槽、コミュニティ・プラント	計
上田市	152,986	124,216	23,519	2,402	150,137	81.2	15.4	1.6	98.1
東御市	29,412	22,897	3,640	2,485	29,022	77.8	12.4	8.4	98.7
長和町	5,702	5,037	52	430	5,519	88.3	0.9	7.5	96.8
青木村	4,189	3,850	-	258	4,108	91.9	-	6.2	98.1
管内計	192,289	156,000	27,211	5,575	188,786	81.1	14.2	2.9	98.2
長野県計	2,034,102	1,731,208	151,918	115,816	1,998,942	85.1	7.5	5.7	98.3

(注) 普及率は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。

イ 浄化槽立入検査

浄化槽の維持管理状況確認等のため、立入検査を行い、公共水域の水質保全と環境衛生の向上に努めている。

《浄化槽設置状況及び立入検査状況》

(令和5年度)

設置基数 (令和5年3月31日現在)	立入検査件数	改善指導件数
3,706	49	41

(7) 自然保護対策

ア 自然公園等の管理

優れた自然環境の保護と適正な利用を図るため、自然公園法及び自然環境保全条例に基づき、各種行為の許可等を行っている。

《自然公園》

(面積単位：ha)

公園名	指定年月日	公園面積	うち県内	うち管内	関係市町村
上信越高原 国立公園	S24.9.7	148,194	62,972	6,305	上田市 東御市
八ヶ岳中信高原 国立公園	S39.6.1	39,857	35,769	4,954	上田市 長和町

《自然公園法に基づく許可（同意）件数》

公園名	町村名	種類	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
上信越高原 国立公園	上田市	工作物	21	19	10	33	26
		土地の形状変更	2	0	2	1	1
		その他	7	3	5	3	3
		計	30	22	17	37	30
	上信越 計	30	22	17	37	30	
八ヶ岳中信高原 国立公園	上田市	工作物	1	4	5	3	5
		土地の形状変更	0	0	0	0	0
		その他	3	1	0	0	1
		計	4	5	5	3	6
	長和町	工作物	7	7	7	2	6
		土地の形状変更	0	1	2	2	0
		その他	5	1	4	0	2
		計	12	9	13	4	8
	八ヶ岳 計	16	14	18	7	14	

《自然公園法に基づく届出件数》

公園名	町村名	種類	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
上信越高原 国立公園	上田市	工作物	0	0	0	1	1
		その他	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	1	1
	東御市	工作物	0	1	1	0	0
		その他	2	5	3	4	2
		計	2	6	4	4	2
上信越 計	2	6	4	5	3		
八ヶ岳中信高原 国立公園	上田市	工作物	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1	0	0
		計	0	0	1	0	0
	長和町	工作物	0	0	0	0	2
		その他	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	2
	八ヶ岳 計	0	0	1	0	2	

### イ 自然観察インストラクター及び自然保護レンジャーの活動

自然公園等の利用に関する指導を行う自然保護レンジャー、自然解説を行う自然観察インストラクターにより、自然環境の適正な利用と保全に努めている。

《自然観察インストラクター・自然保護レンジャー》 (令和6年3月31日現在)

区 分	人数	
自然保護レンジャー	管内の委嘱人数	14人
自然観察インストラクター	管内の登録者数	13人

## 3 循環型社会の形成

廃棄物の発生を抑制するとともに、環境にやさしいライフスタイルを推進し、循環型社会の形成を図るため、県民総参加による取組を進めている。

### (1) 信州エコスタイルごみ減量推進事業(旧 チャレンジ800ごみ減量推進事業)

県、市町村、広域連合等と連携して、ごみ減量の取組を推進できるよう「チャレンジ800実行チーム」を組織し、情報交換や地域の実情に応じたごみ減量の取組の推進を図った。令和5年度より「信州エコスタイルごみ減量推進事業」へ名称変更。

《1人1日あたりの一般廃棄物(ごみ)排出量の状況(g)》

	上田市	東御市	長和町	青木村	上田管内	長野県
令和4年度 排出量	767	551	705	695	731	802
令和3年度 排出量	763	564	732	654	729	800
対前年度比	(g)	▲ 13	▲ 27	41	2	2
	(%)	▲2.2	▲3.6	6.3	0.2	0.3

### (2) きれいな信州環境美化運動

住民、団体、企業、行政など多様な主体が協働し信州全体をきれいにする運動。ポスター・チラシの配布により運動を周知。(計2回実施 令和5年6月、10月)

令和5年10月にJR長野支社上田駅と上田駅商業施設6事業者と協働で、上田駅周辺のごみの一斉収集および清掃を実施。

### (3) 信州プラスチックスマート運動

地球規模での環境汚染が懸念される海洋プラスチックごみ問題に、上流県である本県が貢献できるよう、プラスチックと賢く付き合う「信州プラスチックスマート運動」をポスター、チラシの配布により周知。

### (4) 食べ残しを減らそう県民運動の周知

「残さず食べよう!30・10運動」として令和5年10月に上田駅で啓発実施。信州発もったいないキャンペーンについてポスター、チラシの配布により周知。

### (5) フードドライブの実施

食糧資源の有効活用による食品ロス削減のため、フードドライブを令和5年6月、10月、11月の計3回実施。

# 農地整備課

# 1 農業生産基盤の概況

## (1) 上田地域のほ場整備及び畑地かんがい施設の整備状況

管内の耕地面積は8,861ha(県全体104,809ha)で、うち5,135haが整備済み(整備率58.0%(県全体60.4%))となっている。また、866haの畑地かんがい施設が整備(整備率20.2%(県全体28.0%))されている。

区分	耕地 面積 (ha)	整備済		整備率		畑地かんがい 整備済面積 (ha)	整備率 (%)
		面積 (ha)	区画 20a以上	(%)	区画 20a以上		
上田管内	8,861	5,135	3,612	58.0	40.8	—	—
水田計	4,573	3,792	2,559	82.9	56.0	—	—
上田市	2,800	2,402	1,770	85.8	63.2	—	—
東御市	1,090	802	508	73.6	46.6	—	—
長和町	453	366	191	80.8	42.2	—	—
青木村	230	222	90	96.5	39.1	—	—
畑計	4,288	1,343	1,053	31.3	24.6	866	20.2
上田市	2,400	747	659	31.1	27.5	503	21.0
東御市	1,260	406	226	32.2	17.9	348	27.6
長和町	430	180	162	41.9	37.7	15	3.5
青木村	198	10	6	5.1	3.0	0	0.0
県全体	104,809	63,291	43,482	60.4	41.5	—	—
水田	51,466	44,427	28,783	86.3	55.9	—	—
畑	53,343	18,864	14,699	35.4	27.6	14,938	28.0

※令和4年度実績(農地整備課調べ)

## (2) 上田地域の農業水利施設の整備状況

管内の用排水路は1,380km(受益面積5ha以上)あり、このうち受益面積100ha以上の基幹的な用排水路の延長は106kmとなっている。また、管内には252か所の農業用ため池があり、うち125か所が防災重点ため池である。

区分	用排水路延長		農業用ため池の箇所数	
	用排水路延長	基幹的な用排水路延長	農業用ため池	防災重点ため池
上田管内	1,380 km	106 km	252	125
県全体	14,874 km	1,291 km	1,885	688

※令和6年5月現在(農地整備課調べ)

## 2 農業農村整備事業の概要

「第4期長野県食と農業農村振興計画(R5~R9)」において農業・農村の「めざす姿」としている、「住んでいる人、住みたいと思っている人の満足度の高い豊かな農村」を実現させるための実行計画である、「長野県農業農村整備計画【第9次長野県土地改良長期計画】(R5~R9)」に基づき、次代を担う産地を支える基盤整備の推進、安全安心で持続可能な農村の基盤づくり、農的つながり人口の創出・拡大による農村づくりに取り組む。

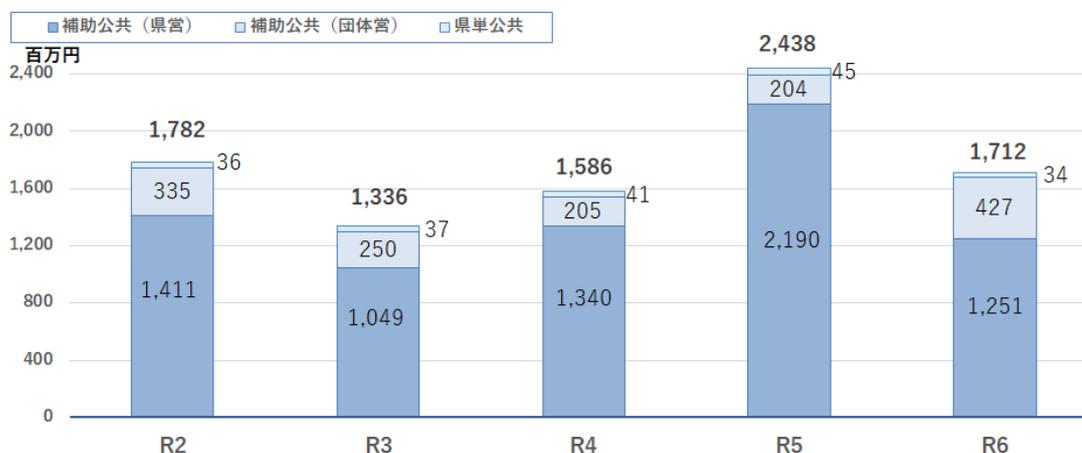
### ○ 第4期長野県食と農業農村振興計画達成指標

区 分	上田管内			県全体	
	R 3年度 (現状)	R 6年度 (計画)	R 9年度 (目標)	R 3年度 (現状)	R 9年度 (目標)
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	1 箇所	1 箇所	4 箇所 (R5~R9)	37 箇所	66 箇所 (R5~R9)
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 <多面的機能支払分>	6,174ha <5,790ha>	6,299ha <5,915ha>	6,299ha <5,915ha>	49,343ha <43,974ha>	50,200ha <44,750ha>
防災重点農業用ため池の防災対策工事の完了箇所数	20 箇所	34 箇所	50 箇所 (R5~R9)	57 箇所	127 箇所 (R5~R9)
水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	4 箇所	11 箇所	19 箇所 (R5~R9)	48 箇所	84 箇所 (R5~R9)

## 3 上田管内の農業農村整備事業費の推移

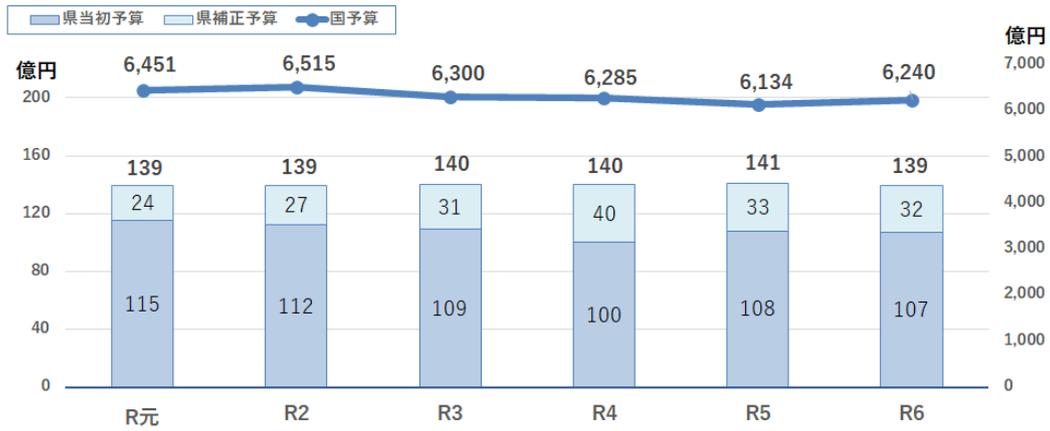
【令和6年5月17日時点】（単位：千円）

区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		R 6	R5補正	当初	
					R4補正	当初				
補助公共	県 営	1,411,200	1,048,943	1,339,500	2,189,902	1,006,000	1,183,902	1,251,120	397,000	854,120
	団体営	334,553	250,110	205,100	203,700	32,000	171,700	426,650	102,500	324,150
	計	1,745,753	1,299,053	1,544,600	2,393,602	1,038,000	1,355,602	1,677,770	499,500	1,178,270
県単公共 計	36,639	41,013	46,839	44,840	—	44,840	34,380	—	34,380	
上田管内 計	1,782,392	1,340,066	1,591,439	2,438,442	1,038,000	1,400,442	1,712,150	499,500	1,212,650	



※各年度前年度の補正予算を含む

【参考】国及び県の農業農村整備事業予算の推移



※国・県予算とも当初予算+前年度補正予算

4 信州の水・土・里が織りなす未来につづく農業・農村

長野県農業農村整備計画(第9次長野県土地改良長期計画)に基づき事業を進める。

(1) 稼げる産地を次代につなぐ農業の展開

ア 県営かんがい排水事業

農業用水を安定的に供給するため、基幹水利施設の補修・更新や機能向上等の整備を行う。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度	R 6年度 事業内容
すがだいら 菅平	上田市 東御市	H28～R 8	2,746,140	2,057,062	75	(319,262) 290,000	ダム設備 一式

※R 6年度欄の上段( )は、R 5年度繰越分で外数

イ 県営畑地帯総合土地改良事業

荒廃農地を解消しぶどう団地へ転換するとともに、担い手への農地集積を推進する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度 (予定)	R 6年度 事業内容
ねつみどう 祢津御堂	東御市	H27～R 6	1,263,000	1,232,684	98	(33,000) 30,000	道路工 L=284m 附帯工 1式

※R 6年度欄の上段( )は、R 5年度繰越分で外数

## ウ 団体営土地改良事業

### ○ 農業水路等長寿命化・防災減災事業

農業水利施設の長寿命化対策や防災減災対策の実施とともに、水管理労力軽減や維持管理コストの低減、事故防止などリスク管理に資する取組に対して助成する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度	R 6年度 事業内容
くぼせぎ 窪堰	上田市	R 3～R 5	32,000	32,000	100	(7,000) 0	水路工 L=126m
しおがわ 塩川	上田市	R 4～R 6	55,500	36,000	65	(2,450) 19,500	水門遠隔操作 N=1か所
うねだのうすいとろしゅこう 上田農水頭首工	上田市	R 4～R 6	72,000	43,100	60	(23,100) 28,900	水利施設整備 N=1か所
3 地区			159,500	111,100	70	(32,550) 48,400	

※R 6年度欄の上段 ( ) は、R 5年度繰越分で外数

### ○ 農業経営高度化支援事業

区画整理事業に係る地域において、当該事業に必要な関係農家の意向調査活動、土地利用調整活動、関係機関との調整等に係る調査・調整活動費用の助成、及び中心経営体への農用地の集積・集約化に向けた促進費用の支援を行う。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度 (予定)	R 6年度 事業内容
ねつ みどう 祢津御堂	東御市	H27～R 6	154,250	110,372	72	15,550	促進費支援 一式

## (2) 安心安全な暮らしが持続する農村の環境

### ア 県営中山間総合整備事業

条件不利地である中山間地域において、地域の特徴を活かして活力ある地域づくりを支援するため、用排水路、農道等の農業生産基盤と集落道、防火水槽等の農村の生活環境基盤を一体的に整備する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度	R 6年度 事業内容
うつくしのさと 美の郷	上田市	H29～R 8	1,203,000	983,000	82	(104,000) 157,000	農業集落道 L=1,324m

※R 6年度欄の上段 ( ) は、R 5年度繰越分で外数

## イ 県営農村地域防災減災事業

農地・農業用施設・住宅等への災害を防止するため、耐震性の向上を図る農業用ため池の改修や農村における総合的な防災・減災対策を実施する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度	R 6年度 事業内容
にしおだ 西塩田	上田市	H25～R 7	2,625,000	2,070,500	79	(786,729) 50,000	ため池工 N=3か所
いずみだ 泉田	上田市	H28～R 7	1,047,000	765,000	73	(141,000) 50,000	ため池工 N=1か所
しおだ 塩田	上田市	H29～R 6	1,035,000	999,900	97	(1,660) 0	ため池工 N=1か所
まくみやいけ 幕宮池	上田市	H29～R 6	406,000	375,860	93	(94,132) 30,140	ため池工 N=1か所
あきまいけ 浅間池	上田市	H29～R 7	294,000	142,140	48	(39,404) 40,000	ため池工 N=1か所
やまだしんいけ 山田新池	上田市	H30～R 6	278,000	261,140	94	(126,140) 16,860	ため池工 N=1か所
きたはもんいけ 北原新池	上田市	R 5～R 8	190,000	26,000	14	(26,000) 30,000	ため池工 N=1か所
よしだせぎ 吉田堰	上田市	R 6～R10	493,000	—	—	46,000	調査・測量・設計 一式
ながのけん 長野県⑫	上田市 東御市	R 6	13,000	—	—	13,000	ため池耐震調査 N=2か所
9 地区			6,381,000	4,640,540	73	(1,215,065) 276,000	

※R 6年度欄の上段（ ）は、R 5年度繰越分で外数

## ウ 団体営農村地域防災減災事業

耐震性が不足しているため池の対策工事及び地域の排水機能強化を目的とした水路の対策工事を行うための事業計画の策定を行う。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度	R 6年度 事業内容
かざわいけ 加沢池	東御市	R 5～R 7	55,000	40,000	73	(40,000) 10,000	ため池工 N=1か所
しおのいりいけ 塩之入池	上田市	R 5～R 6	15,000	10,000	67	(10,000) 5,000	事業計画策定 一式
にこたしんいけ 仁古田新池	上田市	R 5～R 6	15,000	10,000	67	(10,000) 5,000	事業計画策定 一式
ひなたいけ 日向池	上田市	R 5～R 6	15,000	10,000	67	(10,000) 5,000	事業計画策定 一式
とうみし 東御市 2	東御市	R 5～R 6	48,000	42,500	89	(42,500) 5,500	ため池耐震調査 N=6箇所
なかいけ 中池	上田市	R 6	15,000	—	—	15,000	事業計画策定 一式
6 地区			163,000	112,500	69	(112,500) 45,500	

※R 6年度欄の上段( )は、R 5年度繰越分で外数

## エ 地すべり防止区域

管内にある農政部所管の5つの地すべり防止区域は全て概成しており、地すべり防止施設等管理委託(県単地すべり防止施設等管理事業)により関係市町村に管理を委託する。

市町村名	地すべり防止区域	指定面積
上田市	野倉地区、岩清水地区、練合地区、天狗平地区 (4地区)	107.04ha
青木村	深山地区 (1地区)	62.18ha
県全体	137地区	6,392.50ha

## オ 農業集落排水事業

農業集落排水施設の劣化状況を調べる機能診断調査、防食工事等による施設の機能強化に必要な経費を助成する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 5年度 まで	進度 (%)	R 6年度	R 6年度 事業内容
ふじやま 富士山	上田市	R 5～R 6	222,500	109,000	49	(46,090) 113,500	防食工 一式
たけし 武石	上田市	R 6～R 7	113,000	—	—	45,400	調査計画 一式
うらさと 浦里	上田市	R 6	3,600	—	—	3,600	実施設計 一式 防食工 一式
うらさと 浦里	上田市	R 6	2,200	—	—	2,200	調査計画 一式
はやしのごう 林之郷 ・ほうでんなんぶ ・豊殿南部	上田市	R 6	50,000	—	—	50,000	実施設計 一式 防食工 一式
やえはら 八重原	東御市	R 6	7,000	—	—	7,000	調査計画 一式
6 地区			398,300	109,000	27	(46,090) 221,700	

※R 6年度欄の上段（ ）は、R 5年度繰越分で外数

## カ 国土調査事業（地籍調査）

国土調査法に基づき、市町村が事業主体となって、土地一筆ごとの所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を定める。

(単位：千円)

市町村名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	区分	備考	R 5年度まで 進捗率
上田市	13,100	23,094	0	継続	旧武石村 H17完了	19.0%
東御市	—	—	—	完了	旧東部町 S61休止・H28再開・H29完了 旧北御牧村 S48完了	100.0%
長和町	—	—	—	完了	旧長門町 S50完了 旧和田村 H21完了	100.0%
青木村	5,440	4,000	4,640	継続		7.8%
計	18,540	27,094	4,640			38.8%

## キ 多面的機能支払交付金

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や農業用水路等の地域資源を維持、保全する共同活動や施設の長寿命化対策を行う組織を支援する。

市町村名	R 5 年度実績			R 6 年度計画			備 考
	組織数	対象面積 (ha)	交付金 (千円)	組織数	対象面積 (ha)	交付金 (千円)	
上田市	7	2,739	159,208	7	2,722	182,488	
東御市	28	1,230	78,369	28	1,230	90,398	
長和町	1	472	32,191	1	472	37,217	
青木村	6	147	7,787	6	147	9,695	
計	42	4,588	277,555	42	4,571	319,798	

※ 負担割合：国50%、県25%、市町村25%

※ 対象面積は、小数点以下四捨五入

### (3) 多様な人々がつながり共に支える農村

#### ア 団体営土地改良事業

##### ○ ふるさと信州棚田支援事業

棚田の保全・利活用、遊休農地の解消、農業・農村に対する都市住民の理解促進等を図るため、棚田の保全活動や都市と農村の交流活動を支援する。

(単位：千円)

地区名	事業主体	R 5 年度実績	R 6 年度計画
稲倉の棚田	稲倉の棚田地域振興協議会	800	697

## 5 災害からの復旧

農地・農業用施設等の災害復旧に取り組む市町村を支援する。

### 令和5年災害からの復旧

【令和6年5月17日時点】(単位：千円)

市町村	区分	被害額		災害復旧事業			
		箇所	事業費	箇所	事業費		内国費
					実施中		
上田市	農地	30	45,000	2	2	7,623	6,030
	農業用施設	49	43,000	1	1	4,675	4,217
	計	79	88,000	3	3	12,298	10,247
東御市	農地	8	7,000	—	—	—	—
	農業用施設	7	6,000	—	—	—	—
	計	15	13,000	0	0	0	0
長和町	農業用施設	4	4,000	—	—	—	—
	計	4	4,000	0	0	0	0
管内計	農地	38	52,000	2	2	7,623	6,030
	農業用施設	60	53,000	1	1	4,675	4,217
	計	98	105,000	3	3	12,298	10,247

# 林 務 課

# 1 森林の概要

## (1) 森林面積

上田地域の森林面積は65,871haで、森林率(総面積に占める森林の割合)は72.8%(県全体:77.9%)となっている。民有林の人工林率(国有林以外の森林のうち人工的に植栽等が行われた森林の割合)は53.7%(県全体:48.7%)と比較的高くなっている。(単位:ha、%)

区分	総面積	森林面積						森林率	民有林の人工林率
		国有林	民有林				合計		
			人工林	天然林	その他	計			
上田市	55,204	12,168	13,741	12,826	959	27,526	39,694	71.9	49.9
東御市	11,237	3,754	1,054	822	30	1,905	5,659	50.4	55.3
長和町	18,386	8,238	4,762	2,645	192	7,599	15,837	86.1	62.7
青木村	5,710	984	2,297	1,337	62	3,697	4,681	82.0	62.1
計(A)	90,537	25,144	21,854	17,630	1,243	40,727	65,871	72.8	53.7
県計(B)	1,356,160	368,536	334,871	333,362	19,635	687,867	1,056,404	77.9	48.7
(A)/(B)	6.7	6.8	6.5	5.3	6.3	5.9	6.2	—	—

## (2) 民有林の樹種別面積

アカマツが22.2%、カラマツが31.5%を占め、2樹種で過半を占めている。アカマツの占める割合は県全体と比較して大きく上回っており、アカマツへの依存度が高い。

区分	単位	スギ	ヒノキサワラ	アカマツ	カラマツ	その他針葉樹	広葉樹	計
人工林	ha	1,949	1,914	5,018	12,420	118	435	21,854
天然林	ha	3	3	3,756	8	83	13,778	17,631
計	ha	1,952	1,917	8,774	12,428	201	14,213	39,485
構成比	%	4.9	4.9	22.2	31.5	0.5	36.0	100.0
県計	ha	55,309	51,976	90,766	178,272	15,264	276,645	668,232
構成比	%	8.3	7.7	13.6	26.7	2.3	41.4	100.0

## (3) 民有林における人工林の林齢別面積

森林の高齢林化が進み、51年生以上が全体の81.4%を占めている。

区分	単位	林齢(年生)						計
		20以下	21~30	31~40	41~50	51~60	61以上	
上田地域	ha	495	400	1,227	1,932	6,230	11,571	21,854
構成比	%	2.3	1.8	5.6	8.8	28.5	52.9	100.0
県計	ha	3,404	4,568	13,912	36,474	95,243	181,270	334,871
構成比	%	1.0	1.4	4.2	10.9	28.4	54.1	100.0

## (4) 個人有林における森林所有規模別の林家数

森林所有面積が1ha以下の林家数が全体の72.4%を占め、県全体の66.7%を上回っている。

区分	単位	所有面積規模(ha)					計
		1以下	1.01~5	5.01~10	10.01~20	20超	
上田地域	林家数	9,106	2,937	417	135	33	12,628
構成比	%	72.1	23.2	3.3	1.1	0.3	100.0
県計	林家数	112,272	42,581	8,285	3,509	1,261	167,908
構成比	%	66.8	25.4	4.9	2.1	0.8	100.0

出典：(1)~(4) 長野県民有林の現況(令和5年9月)

## (5) 林業生産額の状況

管内の令和4年度の林業生産額（推定）は14億4600万円で、全県の10%を占めている。

令和4年度の木材生産については、カラマツを主とする主伐が進み、令和3年度より約11,506 m<sup>3</sup>増加するとともに、生産木材の価格が好調であったことから約3億円増加した。

### 【令和4年度 林業生産額(推定)】

種 類	生 産 量			生産額（単位：百万円）				備 考
	単位	全県	上田	全県	上田	占有率	構成比	
木 材	千m <sup>3</sup>	467	72	7,412	1,143	15%	79%	国有林を含む
木 炭 等	トン	22	3	8	1	13%	0%	竹炭、木酢液、竹酢液を含む
薪	層積 m <sup>3</sup>	16,110	51	237	2	1%	0%	
特用林産物	トン	8,520	482	6,236	300	5%	21%	くり、くるみは含まれない
林業用苗木	千本	2,018	—	320	—	—%	—%	
計				14,214	1,446	10%	100%	

出典：令和4年度長野県林業統計書・令和5年度木材統計

## 2 林業の振興対策について

### (1) 林業従事者等の現状

管内の林業従事者は、平成25年度をピークに減少傾向にあり、令和4年度も前年度に比べ3人（対前年度比2%）減少し、120人となった。

信州上小森林組合は、管内の林業従事者全体に対する区分比が43%（全県の森林組合平均32%）と高く、地域の中核的な事業体としての役割を果たすことが期待されており、今後とも人材の確保・育成等を強化していくことが求められている。

他の事業体についても、森林整備事業への従事を促進するため、引き続きセミナーや研修等を開催し、担い手の雇用による体制の強化とともに質的向上を図る。

#### ア 林業事業体、従事者の現状

（単位：体、人）

区 分	事業体数		従事者数		区分比		
	管 内	全 県	管 内	全 県	管 内	全 県	
森林組合	1	18	51	474	43	32	
会 社	林業	7	91	37	726	31	48
	その他	4	21	17	106	14	7
個人営業体	4	39	15	99	13	7	
その他(市町村・財産区・協同組合・NPO)	0	11	0	96	0	6	
合 計	16	180	120	1,501	100	100	

出典：令和4年度林業事業体等調査（調査対象年度：令和4年度）

#### イ 森林組合の概要

（単位：人、千円）

組合名	年度	組合員数	事業取扱高	職員数	技能職員数
信州上小 森林組合	合併時(H7年度)	8,427	1,996,523	36	101
	H14年度	8,365	1,974,258	31	86
	H21年度	8,229	1,197,228	27	64
	H30年度	8,153	1,141,952	29	76
	R4年度	8,048	1,048,036	26	56
県平均	R4年度	4,571	469,715	16	30

出典：令和4年度等の森林組合一斉調査（調査対象年度：令和4年の各森林組合の事業年度）

### (2) 県産材の利用促進

長野県県産材利用指針に基づき、公共施設等における県産材の利用を促進するとともに、型枠や杭など公共土木事業への積極的な県産材使用を関係機関と連携して推進している。

また、長野県森林づくり県民税を活用し、市町村や民間施設の木造・木質化、調度品・おもちゃの

設置や暮らしの中の製品を県産材製品へ替える事業を推進してきている。

さらに、令和3年4月に上小森林認証協議会が森林認証（SGEC）を再取得（更新）し、認証森林の適正管理と認証材の生産・流通に取り組んでいる。

ア 「子どもの居場所」木質空間整備事業（令和4年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	長野トヨタ(株)	木のおもちゃ設置	420,000	3/4以内	315,000
上田市	上田市	木のおもちゃ設置	483,230		362,418
東御市	（有）田中製材工業	木造・木質化 木のおもちゃ設置	4,921,400	1/2以内 3/4以内	2,567,944
計			5,824,630		3,245,362

イ ウッドチェンジ普及促進支援事業（令和5年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	フォレストライフ協同組合	木製工作キット（もっくら）	4,003,114	1/2以内	2,000,000
東御市	（有）田中製材工業	音響パネル、録音ブース	5,204,000		1,769,000
長和町	齋藤木材工業(株)	木製サウナ	3,320,000		1,660,000
計			12,527,114		5,429,000

ウ 上田地域のSGEC認証森林

上小森林認証協議会会員	森林の名称	※森林面積 (ha)
上田市	上田市有林	2,635.63
	上田市東御市真田共有財産組合有林	1,574.49
	武石財産区有林	1,246.98
東御市	東御市有林	38.71
	滋野財産区有林	23.45
長和町	長和町有林	1,400.52
	古町財産区有林	215.45
	大門財産区有林	1,155.56
	長久保財産区有林	130.54
青木村	青木村有林	33.22
	青木村及び上田市共有財産組合有林	439.12
長野県	長野県営林（上田地域分）	540.59
信州上小森林組合	信州上小森林組合有林	8.63
計		9,442.89

※ 第1期森林認証は平成28年4月に8,971haで取得、第2期森林認証は令和3年4月に9,442haで更新

エ 木材産業成長産業化促進対策事業

（単位：千円）

区分	事業主体	市町村	施設整備内容	事業費	補助金額
R4年度 (R5～繰越)	齋藤木材工業(株)	長和町	5軸加工ライン等	161,200	80,600

### 3 林業・山村の活性化対策について

#### (1) 野生鳥獣による被害発生状況

令和4年度の野生鳥獣による農林業被害額は約7,475万円、対前年比157%で、カラス及びニホンジカの被害額が約4,674万円で全体の約63%を占めている。この被害対策として、捕獲及び侵入防止柵設置等を実施している。

##### 【野生鳥獣別の被害額】

(単位:ha、千円)

区分		令和3年度		令和4年度		主な被害作物	
		被害面積	被害額	被害面積	被害額		
農 業	鳥 害	スズメ	145.8	4,070	142.1	4,573	稲
		カラス	59.3	16,677	59.2	21,161	果樹
		ヒヨドリ	33.5	1,009	32.3	1,036	野菜、果樹
		ハト	9.0	565	4.7	196	豆類
		その他鳥類	13.8	864	11.2	474	果樹、稲
		小計	261.4	23,185	249.5	27,440	
	獣 害	ツキノワグマ	1.3	900	1.5	925	野菜、果樹
		イノシシ	20.7	2,872	31.0	4,353	野菜、果樹、いも類
		ニホンジカ	86.0	10,315	91.1	25,581	稲、野菜、果樹
		カモシカ	0.8	139	1.3	221	野菜、果樹
		ハクビシン	56.9	8,607	53.7	9,464	果樹、野菜
		その他獣類	7.5	993	3.8	1,330	野菜、果樹
		小計	173.2	23,826	182.4	41,874	
計	434.6	47,011	431.9	69,314			
林 業	獣 害	ニホンジカ	0.4	594	6.2	4,928	カラマツ
		その他獣類			0.4	509	
	計	0.4	594	6.6	5,437		
合計		435.0	47,605	438.5	74,751	対前年比157% R4県全体の10%	
長野県全体			731,552		738,012		

出典：林務課、農業農村支援センター資料

#### (2) 野生鳥獣による被害対策の状況

野生鳥獣による農林業被害は、経済的な損失はもとより、地域住民へ精神的なダメージを与えていることから、市町村が行う捕獲などを支援するほか、平成19年度から林務課、農業・農村支援センター、商工観光課、環境課からなる野生鳥獣被害対策チームを組織し、市町村と連携しながら、被害集落に対して電気柵設置など「集落ぐるみの被害対策」に取り組んでいる。

##### ア 野生鳥獣総合管理対策事業の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和5年度実績			令和6年度計画(要望)		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
ツキノワグマ移動(学習)放獣	34頭	2,798	1,255	39頭	2,344	1,172
鳥獣被害対策実施隊員支援	235人	317	159	246人	329	164
銃猟者確保育成支援	1人	22	11	54人	228	114
捕獲檻等購入支援	30基	185	92	30基	218	108
広域捕獲支援	一式	594	214	一式	500	250
計		3,916	1,731		3,619	1,808

イ 鳥獣被害防止総合対策交付金の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和5年度実績			令和6年度計画(要望)		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
緊急捕獲活動 支援事業 (個体数調整)	シ 2,195 頭	3,7572	12,784	シ 2,470 頭	34,580	17,290
	イシ 260 頭	3,934	1,460	イシ 320 頭	4,480	2,240
	ハクビシ 173 頭	590	154	ハクビシ 240 頭	480	240
	カラス 711 羽	356	142	カラス類 1,000 羽	400	200
計		42,452	14,540		39,940	21,778

ウ 野生鳥獣の捕獲状況

(単位：羽、頭)

事業種目	令和3年度			令和4年度		
	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計
スズメ類	135		135		7	7
カラス類		1,639	1,639		1,096	1,096
ハト類	46		46		47	47
その他鳥類	202	37	239		7	7
鳥 類 計	383	1,676	2,059	0	1,157	1,157
ニホンジカ	399	2,897	3,296	39	2,668	2,707
ツキノワグマ		9	9			0
カモシカ	非狩猟獣	4	4	非狩猟獣		0
イノシシ	60	127	187	26	263	289
ハクビシ	3	264	267		244	244
その他獣類	32	556	582		596	596
獣 類 計	494	3,851	4,345	65	3,784	3,849

出典：林務課資料

(3) 特用林産物振興対策

農山村における貴重な現金収入源である特用林産物の生産振興を図るため、生産者研修会の開催などにより生産者の事業活動強化を図っている。

【特用林産物生産量の推移】

(単位：きのご類・木炭等・山菜類 トン、薪 百積層m<sup>3</sup>、%)

区 分	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		前年度比	
		全県		全県		全県		全県		全県
きのご類	829	7,294	867	7,146	807	8,744	472.6	8,418	59	96
ナメコ	777	4,267	845	4,355	784	5,687	438.6	5401.7	56	95
マツタケ	0.9	6.9	1.0	8.6	2.1	31.8	1.8	22.6	86	71
生シイタケ	50.7	3,020	21	2,782	19.3	3,017	32.2	2985.3	167	99
木炭等	2.2	25.6	3.2	37.5	3.2	28.9	2.9	21.6	91	75
薪	0.5	146	0.4	114	0.6	249	0.5	161.1	83	65
山菜類	13.2	55	10.5	112	10.5	99	7.4	91.0	70	92

出典：令和4年度長野県林業統計書

(4) 森林環境教育の推進

次代を担う子供たちや地域住民に、身近な森林や森林資源を活用した活動等を通じて健全な森林の育成に対する意識の高揚を図っている。

ア みどりの少年団の現況（令和6年4月現在）

（単位：団、人）

地区	団数	小学生	中学生	計	活動内容等
上田	10	1,207	0	1,207	U E 森植樹の集い・交流集会等への参加、キノコ栽培・木工体験・森林教室等の実施
県全体	179	21,344	3,306	24,650	県全体数字はR5年4月現在

イ 森林環境教育に係る森林づくり県民税活用事業の実績

区分	事業名	事業主体名	活動内容
H29	木育推進事業（木育活動型）	上田市立傍陽小学校	学校周辺の森林を活用した森林学習他
H30	木工体験活動支援事業	（公財）身体教育医学研究所	県産材を活用した木工体験活動
	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R元	木工体験活動支援事業	上田市立南小学校	県産材を活用した木工体験活動
R2	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R3	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R4	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R5	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備

4 森林整備について

（1）森林整備の推進

森林資源の循環、森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、路網整備や高性能林業機械の導入等も進めながら主伐・再造林や搬出間伐を主体とした森林整備を推進しており、これに伴い素材生産量も伸びている。

【素材生産量の推移】

（単位：m<sup>3</sup>）

区分		H20①	H25	H30	R3②	R4③	③／②	③／①
全 県	国有林	136,354	183,927	216,592	200,230	174,935	87.4	128.3
	民有林	169,010	284,078	354,584	352,912	388,878	110.2	230.1
	計 A	305,364	468,005	571,176	553,142	563,813	101.9	184.6
上 田 地 域	国有林	28,591	24,489	49,846	20,942	25,793	123.2	90.2
	民有林	19,378	32,123	39,216	38,812	45,467	117.1	234.6
	計 B	47,969	56,612	89,062	59,754	71,260	119.3	148.6
	B／A	15.7%	12.1%	15.6%	10.8%	12.6%	—	—

出典：長野県木材統計（暦年実績）

## (2) 里山整備の推進

長野県森林づくり県民税を活用して集落周辺の里山の整備も進めており、平成30年度（第3期森林税）からは「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山整備を支援している。

### ア 里山整備方針の「防災・減災」優先整備箇所（令和5年5月時点）

市町村名	上田市	東御市	長和町	青木村	計
優先整備箇所数	33箇所	15箇所	24箇所	14箇所	86箇所
対象区域森林面積	377 ha	134 ha	198 ha	136 ha	845 ha

### イ 上田地域の里山整備利用地域認定状況（令和6年5月末現在）

認定年月日	市町村名	地域名	活動を推進する地域団体の名称
H30年10月25日	上田市	霊泉寺温泉	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
〃	〃	飯沼	里山環境整備プロジェクトチーム
H31年3月19日	青木村	村松西	村松西地区里山整備利用推進協議会
〃	上田市	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト
R5年11月21日	東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム
R6年2月15日	上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスター倶楽部

## (3) 松くい虫防除対策の推進

管内の松くい虫被害は、昭和59年に上田市で確認以来、4市町村で発生しており、令和5年度の被害量は10,679 m<sup>3</sup>（対前年度比130%）で、県全体の19.3%を占め、松本地域に次ぐ被害量となっている。

平成14年度までは被害木の全量駆除を実施したが、平成15年度からは「守るべき松林」及び「周辺松林」において「集中と選択」により、被害木の伐倒駆除や樹種転換等の防除対策を集中的・効果的に実施している。

### ア 被害の推移

（単位：m<sup>3</sup>、%）

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
上田管内	21,733	21,342	16,454	12,194	9,144	8,213	10,679
長野県	74,049	71,996	70,440	64,022	51,443	48,080	55,280
対全県比率	29.3	29.6	23.4	19.0	17.8	17.1	19.3

（R6年5月林務部資料）

### イ 防除対策の実績

（単位：材積 m<sup>3</sup>、面積 ha）

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
伐倒駆除材積	9,136	8,698	7,014	5,048	3,447	4,296	5,962
地上散布面積	20	0	0	0	0	0	0
樹幹注入面積	6	4	2	2	1	1	1
樹種転換面積	3	13	9	9	13	14	5

#### (4) 林地保全対策の推進

山地災害から住民の生命、財産を守り、森林の公益的機能に対する社会的要請に対応するため、災害の防止や水源かん養等の機能の確保・向上を目的に治山事業を実施している。

また、保安林機能の維持増進のため、保安林の適正な配備を行うとともに、保安林整備事業を実施している。

##### 【治山事業：令和5年度実績及び令和6年度計画】

(単位：箇所、千円)

事業名	令和5年度実績		令和6年度計画		対前年度比	
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費
復旧治山(2か年国債)	1	61,000	(1)	109,000		
機能強化・老朽化対策			2	71,500		
保育	1	2,442	2	6,930		
予防治山	1	43,450	1	64,900		
林地荒廃防止	3	116,545	1	36,300		
公共計	6	223,437	6	288,630	100%	129%
県単治山	4	12,606	4	15,198	100%	121%
計	10	236,043	10	303,828	100%	129%

注：実績・計画には翌年度への繰越を含まない。(2か年国債は、各年度に該当額を計上)

##### 【令和6年度治山事業計画箇所一覧】 ※予算区分は全て令和6年度当初

番号	事業名	市町村名	箇所名	新・継	工種
1	復旧治山 (2か年国債)	上田市(丸子)	山ノ神	継	谷止工(コンクリート)1個1,450 m3
2	保育	上田市	野倉	新	森林整備(本数調整伐2.90ha)
3	保育	上田市	野倉	新	測量設計1式
4	予防治山	上田市(丸子)	寺沢	継	谷止工(鋼)1個3.195t
5	機能強化・老朽化対策	上田市(丸子)	中洞	新	谷止工(コンクリート)1個380m3
6	機能強化・老朽化対策		上田管内一円	新	治山施設点検調査1式
7	林地荒廃防止	上田市(武石)	小原	継	床固工(コンクリート)2個130m3、流路工41m
8	県単治山	上田市	岳ノ尾・大谷	新	地すべり防止施設点検巡視、維持管理
9	県単治山	上田市	岳ノ尾・大谷	新	地すべり防止施設蓋取替、フェンス工他
10	県単治山	上田市(丸子)	東原	新	測量・設計1式
11	県単治山	上田市(武石)	ホドガイ	新	測量・設計1式

## 5 令和元年東日本台風による山地及び林道災害について

### (1) 被害の概要

管内の被災状況は、千曲川以南の上田市塩田、丸子、武石及び長和町を中心に山地災害と林道災害が発生した。

### (2) 被災状況及び復旧状況

#### 【治山関係】

(単位：箇所、ha、千円)

市町村	被災状況			復旧状況		
	箇所数	面積	被害額	箇所数	事業費	復旧率(注)
上田市	14	2.33	365,061	10	690,045	71%
東御市	4	0.37	12,000	2	10,010	50%
計	18	2.70	377,061	12	700,055	67%

注：東御市1箇所(0.15ha)は市単独事業により対応済みのため、箇所及び復旧率に含むが、事業費の対象外

#### 【林道関係】

(単位：箇所、m、千円)

管理者	被災状況				復旧状況				
	路線数	箇所数	延長	被害額	路線数	箇所数	事業費	復旧率(※)	
市町村	上田市	76	237	6,125	329,841	-	-	-	-
	うち公共災害	24	33	1,965	268,991	24	33	259,885	100%
	東御市	1	4	60	1,200	-	-	-	-
	うち公共災害	-	-	-	-	-	-	-	-
	長和町	31	144	5,298	193,416	-	-	-	-
	うち公共災害	8	21	1,893	153,916	8	21	149,501	100%
	青木村	3	12	491	19,956	-	-	-	-
	うち公共災害	1	1	91	17,156	1	1	16,374	100%
	計	111	397	11,974	544,413	-	-	-	-
	うち公共災害	33	55	3,949	440,063	33	55	425,760	100%
県(県有林)	3	21	542	25,811	-	-	-	-	
	うち公共災害	3	6	112	20,811	3	6	20,811	100%
合計	114	418	12,516	570,224	-	-	-	-	
	うち公共災害	36	61	4,061	460,874	36	61	446,571	100%

注：復旧率は、完了箇所比により算出

### (3) 復旧事業の内訳

- ・治山関係(県営事業：11箇所、事業費700,055千円)は、令和2年度から本格復旧に着手し、災害関連緊急治山事業(3箇所、事業費207,669千円)、その他公共治山事業(6箇所、事業費469,242千円)や県単治山事業(2箇所、事業費23,144千円)により令和5年度までに完了した。
- ・令和6年度の治山事業は、機能強化・老朽化対策事業(1箇所、事業費51,700千円)を予定しており、残りの箇所も順次復旧事業を実施していく。
- ・林道関係のうち県営事業(県有林分)は、令和2年度から本格復旧に着手し、林道災害復旧事業(3箇所、事業費20,811千円)により令和3年度に完了した。
- ・林道関係のうち補助事業(市町村管理分)は、被害のあった111路線のうち公共災害として採択された33路線について、林道災害復旧事業により令和2年度から本格復旧に着手し、令和3年度末に全路線が完了した。(補助対象外となった78路線は市町村が自力事業等により対応)

# 商 工 觀 光 課

# 1 商工業・観光の概況

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行し、社会経済活動の正常化が進む一方で、人手不足等により県内産業を取り巻く環境は厳しさを増しており、これを踏まえた事業者支援や観光振興の取組が課題となっている。

製造業は、業種や製品分野により業況に差はあるものの、景気回復傾向が続いてきたが、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇等により、回復の動きに一服感が見られる。

小売業は、客足はコロナ禍前の状況に戻りつつあるが、仕入れ値やエネルギー価格の高騰の影響が大きく、厳しさが続いている。

観光は、感染症による行動制限が廃止されたことにより、需要は回復してきており、影響の大きかったスポーツ合宿やスキー旅行も回復傾向となっている。

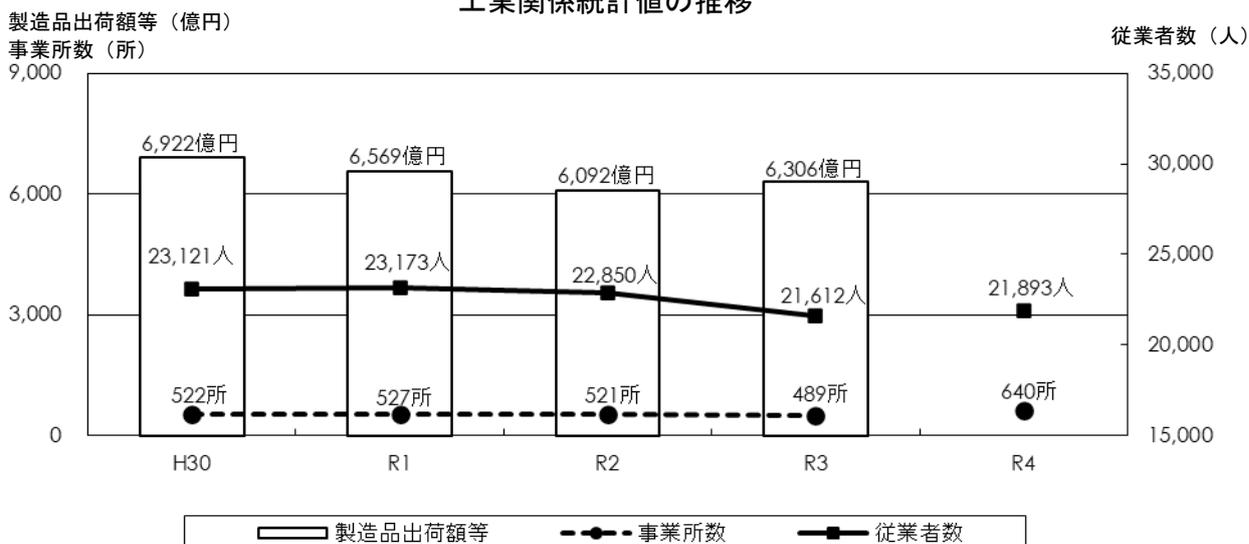
## (1) 工業の現況

(工業統計調査(令和2年)、経済センサス-活動調査(令和3年)、経済構造実態調査(令和4年))

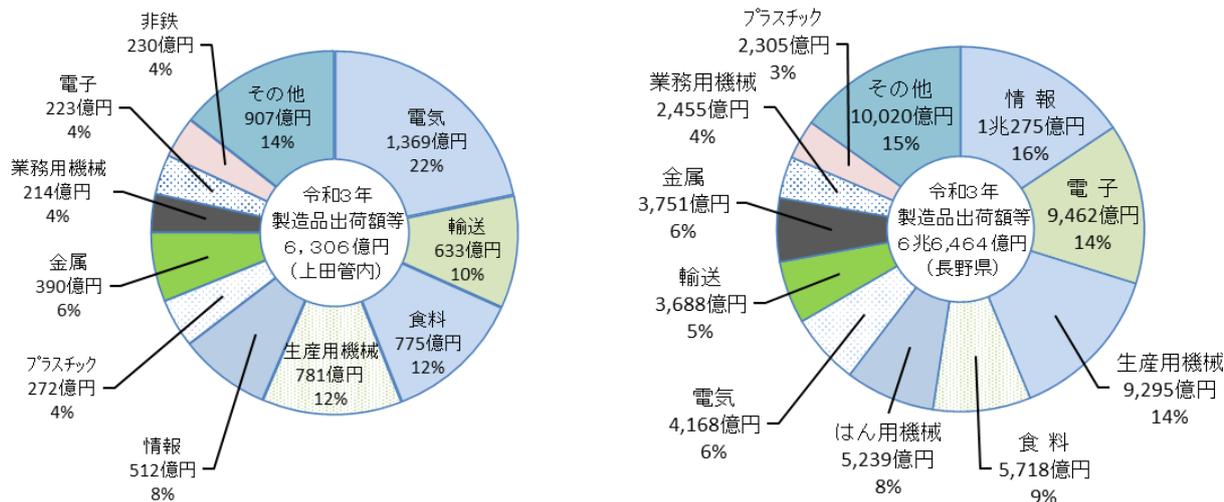
区分	種別	事業所数(所)			R4/R3 (%)	従業者数(人)			R4/R3 (%)	製造品出荷額等(億円)			R3/R2 (%)
		R2	R3	R4		R2	R3	R4		R1	R2	R3	
管内		521	489	640	(130.9)	22,850	21,612	21,893	(101.3)	6,569	6,092	6,306	(103.5)
全県		4,767	4,825	6,123	(126.9)	204,917	202,222	203,820	(100.8)	61,578	60,431	66,464	(110.0)
対全県比(%)		10.9	10.1	10.5	—	11.2	10.7	10.7	—	10.7	10.1	9.5	—

※経済センサス-活動調査と経済構造実態調査は、調査対象事業所が異なるため、対前年比率は( )表示

### 工業関係統計値の推移



### 業種別製造品出荷額等(令和3年)



(2) 商業の現況

(経済センサス-活動調査)

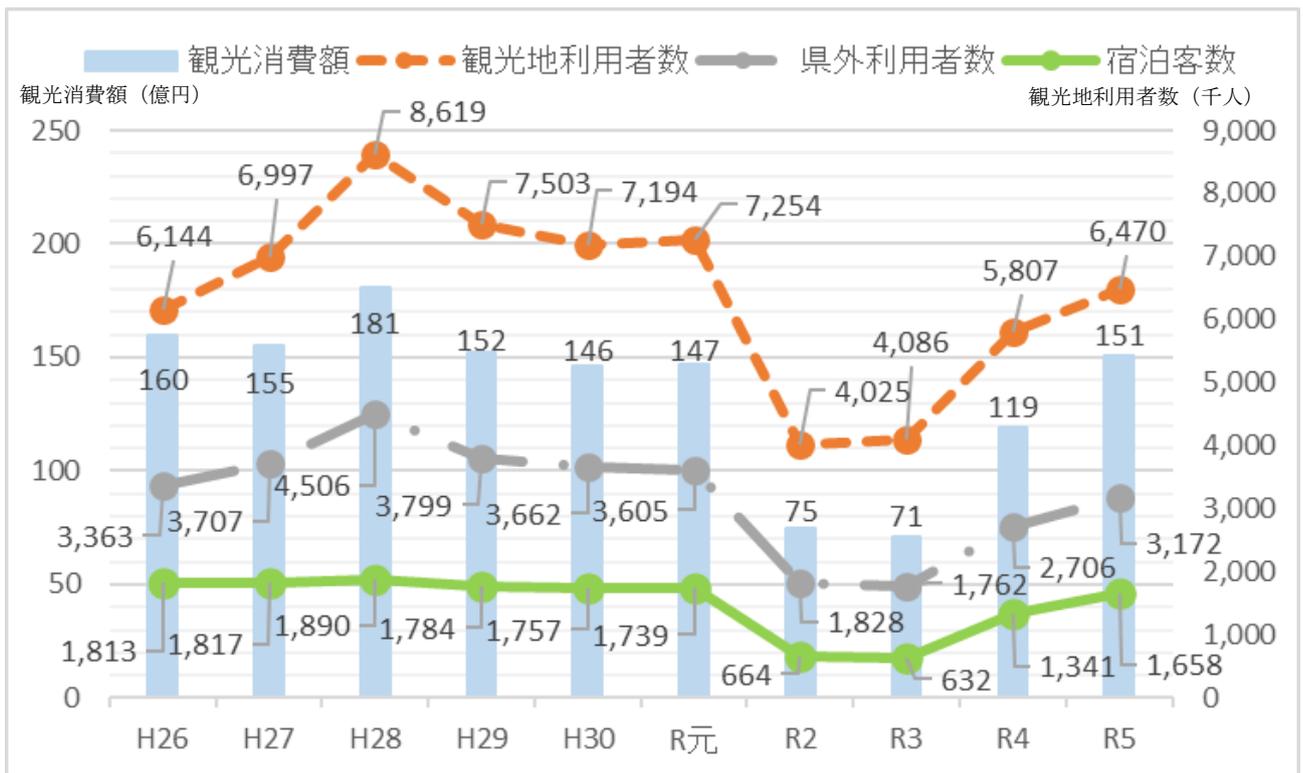
区分	年	平成28年			令和3年			前年比 (%)		
		商店数	従業者数	販売額	商店数	従業者数	販売額	商店数	従業者数	販売額
		(店)	(人)	(億円)	(店)	(人)	(億円)			
管内		1,847	13,942	5,061	1,725	14,146	4,681	93.4	101.5	92.5
対全県比 (%)		8.9	9.5	9.2	8.8	9.5	8.7	—	—	—
全県		20,725	146,166	54,771	19,707	149,016	53,957	95.1	101.9	98.5

(3) 観光の現況

(長野県観光地利用者統計調査)

区分	年	令和4年			令和5年			前年比 (%)			
		観光地利用者数(千人)		消費額(億円)	観光地利用者数(千人)		消費額(億円)	利用者数	消費額		
		うち県外	うち県外		うち宿泊	うち県外					
管内		5,807	1,341	2,706	119	6,470	1,658	3,172	151	111.4	126.8
対全県比 (%)		7.7	5.9	5.7	4.2	令和6年8月頃公表					
全県		75,447	22,739	47,610	2,825						

観光関係統計値の推移



## 2 商工業・観光の事業実績

中小企業の資金調達、経営・技術力向上、販路開拓、人材育成・確保や観光地の誘客活動等を支援するため、市町村や商工団体、(公財)長野県産業振興機構、県工業技術総合センター等と連携し、各種事業を実施した。主な事業実績は次のとおり。

### (1) 県中小企業融資制度資金のあっせん状況

資金の別		年 度	令和4年度		令和5年度			
			貸付件数 (件)	貸付金額 (千円)	貸付件数 (件)	前年度 比%	貸付金額 (千円)	前年度 比%
小規模企業発展資金			8	25,230	8	100.0	31,710	125.7
経営健全化 支援資金	経営安定対策		1	19,110	2	200.0	34,720	181.7
	特別経営安定対策		0	0	6	皆増	79,300	皆増
	防災・安全対策		0	0	0	-	0	-
	災害対策		0	0	0	-	0	-
	新型コロナウイルス 対策		290	3,159,910	214	73.8	2,962,670	93.8
	物価高対策		-	-	2	-	41,000	-
信州創生推進資金	創業支援向け		92	442,290	90	97.8	436,710	98.7
	事業承継向け		16	183,150	6	37.5	102,070	55.7
	IT産業向け		2	8,000	0	皆減	0	皆減
	事業展開・ 物流革新向け		7	214,290	18	257.1	482,910	225.4
	地域活性化向け		0	0	2	皆増	105,000	皆増
	企業立地向け		0	0	3	皆増	330,000	皆増
	ゼロカーボン・ 次世代産業向け		2	23,000	1	50.0	11,500	50.0
	海外展開向け		0	0	0	-	0	-
経営改善サポート資金			8	253,300	5	62.5	101,110	39.9
管内計	設 備		154	1,598,840	118	76.6	1,892,991	118.4
	運 転		272	2,729,440	239	87.9	2,825,709	103.5
	計		426	4,328,280	357	83.8	4,718,700	109.0
対 全 県 比 ( % )			13.3	12.2	11.9	-	12.3	-
県 計			3,201	35,483,380	2,990	93.4	38,499,170	108.5

## (2) 企業立地促進支援の実施状況

### ① 工場立地動向(※太陽光発電除く)

区分	年	令和4年		令和5年	
		件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)
管内		2	0.4	4	1.7
対全県比(%)		6.3	1.1	20.0	9.3
全県		32	36.6	20	18.2

### ② 県産業投資応援条例による支援

#### ア 不動産取得税の課税免除

区分	年度	令和4年度		令和5年度	
		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
管内		0	0	0	0
対全県比(%)		-	-	-	-
全県		1	27,930	0	0

#### イ 県産業投資応援助成金の認定

区分	年度	令和4年度		令和5年度	
		件数(件)	助成予定額(億円)	件数(件)	助成予定額(億円)
管内		1	2.5	0	0
対全県比(%)		6.3	14.1	0	0
全県		16	17.7	8	14.0

### ③ 地域経済牽引事業計画の承認

区分	年	令和4年度	令和5年度
		件数(件)	件数(件)
管内		2	2
対全県比(%)		6.3	8.0
全県		32	25

## (3) 経営革新計画の承認状況

区分	年	令和4年度	令和5年度
		件数(件)	件数(件)
管内		15	13
対全県比(%)		15.2	11.7
全県		99	111

#### (4) 伝統的工芸品振興に関する取組の実施状況

上田地域の伝統的工芸品である上田紬・農民美術・手作り打上花火を広く周知するため、展示・製作体験等を通じて、その価値・魅力を発信する事業を実施。

##### ① 上田地域産業展 2023 への出展

上田地域産業展 2023 において、「上田地域の伝統的工芸品」PRブースを設置し、伝統的工芸品の展示・紹介及び製作体験を実施。

##### ② PR 製品の配布

上田紬を使用した缶バッジを製作し、上田地域産業展 2023 や銀座 NAGANO での観光キャンペーン等において配布。

##### ③ ブログでの魅力発信

「織りの休日倶楽部」(上田紬)、「実践的こっぱ人形講座」(農民美術)に参加し、その様子をブログで公開。

##### ④ 伝統的工芸品を使用することによる魅力発信

上田地域振興局・県庁産業労働部等の職員が上田紬のネームフォルダを普段から着用することにより、その魅力を広く発信。

#### (5) ワイン振興に関する取組の実施状況

千曲川ワインバレー特区協議会の取組を支援するとともに、地域振興推進費を活用し、管内で生産されたワインの消費拡大を推進。

##### ① 新聞折込広告の実施

お歳暮やクリスマスの時期に合わせ、ワインのギフト活用を提案するチラシを朝刊に折込み、管内4市町村の新聞購読世帯約54,000世帯に配布。

##### ② ワイン販売情報リーフレットの増刷

管内生産者のワインの販売情報をまとめたリーフレットを5,000部増刷し、飲食店や県民利用施設等で配布。

##### ③ 観光キャンペーンでの試飲販売の実施

銀座NAGANOでの観光キャンペーンにおいて、生産者によるワインの有料試飲を実施。

#### (6) 観光振興に関する取組の実施状況

##### ① 上小地域観光戦略会議の開催

コロナ禍以降5年ぶりに対面会議を開催。構成団体における取組状況や、「コロナ禍で打撃を受けた観光需要の回復の動きを更に促進する取組」等について意見交換を実施。

戦略会議の下に新たに設置した「上田地域食材活用分科会」と「サイクルツーリズム分科会」において、以下の取組を実施。

###### ア 上田地域食材活用分科会

- ・ガストロミーツーリズムに関する講演会の開催。
- ・「“ストーリーを学ぶ”生産者ツアー」を実施。

###### イ サイクルツーリズム分科会

- ・「サイクルツーリズムを活発化する方策」をテーマとした講演会を開催。
- ・「自転車を軸とした観光振興」をテーマに意見交換を実施。

##### ② 上田地域の観光振興に向けた「道の駅」連携促進会議の開催

今後の取組の方向性及び令和6年度の取組等に関する意見交換等を実施。

### ③ 観光キャンペーンの実施

上田市千本桜祭り、関越自動車道・上里サービスエリア(下り)及び銀座NAGANOにおいて、市町村や観光協会等が参加する、観光キャンペーンを開催し、上田地域の観光地や特産品などのPRを実施。

### ④ 人流データ分析の実施

上田地域の観光地等における、人流データ分析結果を道の駅、市町村、観光協会に提供。

### ⑤ 県民参加型予算事業の推進

「ワインを活かした観光地域づくり」をテーマに県民から事業提案を募集し、審査会を経て令和6年度実施事業を選定・予算化。

### ⑥ 観光×DXセミナー

コロナ禍を経て深刻な人手不足に陥るなど、様々な課題に直面している観光産業のDXを促進するセミナーを開催。

### ⑦ 情報発信

ア 上信越道東部湯の丸SAの観光情報発信コーナーにて、上田地域の観光パンフレットの配架やポスターを掲示。

イ 上田地域の観光イベント情報について、長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」へ投稿。

ウ 令和5年1月に実施した「上田地域観光プロモーション動画コンテスト」の表彰作品を県内外7カ所で放映。

### ⑧ 観光客安全対策の実施状況

ア 菅平・湯の丸地区山岳遭難防止対策協会

菅平地区救助訓練(春期・秋期)への参加

イ 上小地区観光客安全対策推進連絡協議会

- ・上田市独鈷山登山者に対し、遭難防止に関する注意喚起案内を掲出

- ・キャンプ場パトロールの実施

- ・山岳遭難防止啓発の実施

- ・上小地区冬の観光客安全対策(拡大)連絡会議の開催

- ・スキー場安全対策現況調査の実施

- ・スキー場パトロールの実施

## (7) 就業促進対策の実施状況

### ① 「長野県就業促進・働き方改革戦略会議」上田地域会議の開催

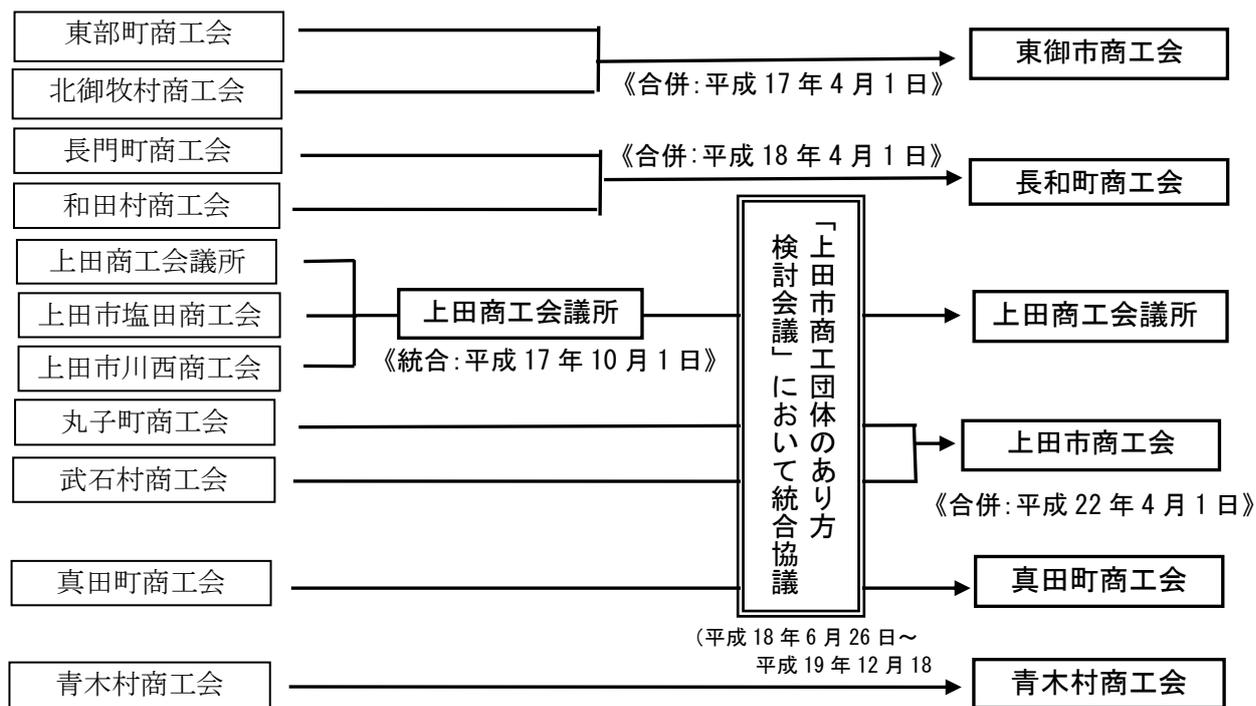
コロナ禍以降4年ぶりに対面会議を開催。上田地域における「人材不足」の現状について管内事業者を対象に行ったアンケート結果をもとに、構成団体における取組状況や、地域の課題について意見交換を実施。

### ② 求職者・就職困難者等に対する就労サポート事業の実施

地域振興推進費を活用し、地域就労支援センター「Jobサポ」事務局と連携の上、上田地域での就労や再就職を希望する女性を対象とした就労セミナーの開催や、上田公共職業安定所を会場とした個別相談会を開催。

(8) 商工会・商工会議所の統合・合併の状況

【令和6年4月1日現在】



3 新型コロナウイルス感染症感染拡大による中小企業、観光業への支援の実施状況

(1) 相談体制の充実

令和2年6月に「産業・雇用総合サポートセンター」を設置し、中小企業が国・県の経営・雇用関係の支援策を効果的に活用できるよう、相談から支援策の紹介、申請書の作成・提出までをワンストップで支援。

(令和5年度産業・雇用総合サポートセンターの相談対応実績) (件)

相談	内 訳			
	再構築補助金	ものづくり補助金	持続化補助金	コスト削減助成金
432	424	5	2	1

※産業・雇用総合サポートセンターは、各地域振興局（及び労政事務所）に設置されている。

(2) 長野県プラス補助金

中小企業の未来（ポストコロナ）に向けた事業再構築やウィズコロナ・ポストコロナを見据えた持続可能な経営形態への転換を支援。

		第1弾	第2弾	合計
令和3年度～ 令和5年度	交付件数（件）	166	13	179
	交付額（千円）	376,156	13,272	389,428
令和6年度	交付申請予定数（件）	13	29	42
	交付予定額（千円）	60,391	26,529	86,920

# 農業農村支援センター

## 1 管内農業の概要

- ・上田地域は、耕地が標高 420m から 1,300m に立地し、年間降水量が 890 mm 程度と晴天日が多い気象条件を活かし、水稻や畜産の他、果樹や野菜、花きなど多様な品目が生産されている。
- ・農業産出額は令和 3 年度 198 億円。上田市菅平地域の高原野菜、東御市や上田市塩田地区を中心とした生食用ぶどうは品質が高く実需者からの評価も高い。
- ・総農家数は 8,432 戸。このうち自給的農家の割合が 64.8% と県全体の平均値より約 10 ポイント高く、農業就業人口のうち 65 歳以上の占める割合は 69.1% で県全体の平均値より約 4 ポイント高い。
- ・農家戸数の減少や高齢化が進む中、条件の良い水田地帯等では農地中間管理事業の活用等により、担い手への農地集積が進められている。

### (1) 農家戸数及び農業就業人口 (2020 農林業センサス)

市町村	農 家 戸 数				農 業 就 業 人 口		
	総農家数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的 農家(戸)	自給的農 家率(%)	総人口 (人)	65 才 未満(人)	65 才 以上(人)
上田市	5,244	1,690	3,554	67.8	2,468	784	1,684
東御市	2,093	1,012	1,081	51.6	1,432	492	940
長和町	624	141	483	77.4	207	84	123
青木村	471	128	343	72.8	150	42	108
地区計	8,432	2,971	5,461	64.8	4,257	1,402	2,940
構成比	100	35.2	64.8	—	100	32.9	69.1
県計	89,786	40,510	49,276	54.9	67,790	23,535	44,255
構成比	100	45.1	54.9	—	100	34.7	65.3

(注) 自給的農家：経営耕地面積が 30 a 未満かつ農産物販売金額が年間 50 万円未満の農家  
 農業就業人口：農業に 60 日以上従事した 15 才以上の世帯員、役員・構成員（経営主含む）の数

### (2) 農産物産出額 (R3 年産)

作物名	作付面積	生産量	産出額			県産出額	管内の占 める割合
				構成比	前年比		
	ha	t, 千本	億円	%	%	億円	%
米	2,698	15,310	30	15.1	82	371	8.0
麦類	362	895	0.3	0.2	60	3	10.0
豆・穀類	647	508	1	0.5	125	12	8.3
果樹	647	5,181	53	26.7	166	870	6.1
野菜	1,374	23,077	42	21.2	135	889	4.7
花き	55	12,164	17	8.6	148	156	10.9
きのこ類	—	7,744	32	16.1	86	502	6.4
畜産	7,277 頭 98 千羽	7,680	21	10.6	100	262	8.0
その他	—	—	2	1.0	100	59	3.4
計	—	—	198	100.0	87	3,126	6.3

(県農産物産出額より)

(注) 端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 認定農業者等への農地の集積状況 (令和5年3月末現在) (ha、%)

市町村	耕地面積	中核的 経営体	認定農業者等への利用集積状況			集積率	
			認定農業者	集落営農組織他	合計	基本構想 目標	実績
上田市	5,200	318	1,320.8	488.4	1,809.2	60	34.8
東御市	2,360	160	599.5	127.7	727.2	50	30.8
長和町	883	33	114.8	58.6	173.4	45	19.6
青木村	428	27	38.1	126.1	164.2	50	38.4

(長野県・長野県農業再生協議会「農業構造政策推進資料」より抜粋)

(注)集落営農組織他には、基本構想水準到達者、認定新規就農者を含む。端数処理の関係で計と内訳が一致しない場あり。

## 2 事業概要

### (1) 長野県食と農業農村振興計画 上田地域計画の達成指標

<第4期計画(令和5年(2023年)~令和9年(2027年)>

#### ■達成指標 上小テーマ「人・食・地域 つながり輝く上小農業」

重点 取組	達成指標	現状 R3(2021)年	R5(2023)年		目標 R9(2027)年
			計画	実績	
1	新規就農者数(49歳以下)	7人/年	11人/年	10人/年	11人/年
	中核的経営体数	529経営体	547経営体	538経営体	620経営体
2	多目的ネット等の利用面積	59ha	67ha	60ha	100ha
	醸造用ぶどうの収穫量	281t	513t	309t	1,200t
	持続性の高い生産方式導入面積	428ha	452ha	413ha	500ha
3	県オリジナル品種等の普及面積	293ha	602ha	647ha	624ha
	米・ぶどうの輸出货量	245t	260t	316t	300t
4	都市農村交流人口	6,576人	12,060人	5月調査	34,000人
5	防災重点農業用ため池の防災対策工事の着手箇所数	21か所	22か所	22か所	29か所
6	学校給食の県産食材利用割合	46%	46.7%	5月調査	48%
	常設農産物直売所の売上額	20億円	21億円	5月調査	25億円

(上田農業農村支援センター)

### (2) 産業としての農業の振興

#### ア 多様な人材が活躍できる地域と一体となった担い手の確保育成

- 市町村、JA信州うえだ、農業委員会、上田農業農村支援センター等で上田地域就農促進連絡会議を組織し、就農相談会の開催や次代の担い手となる新規就農者の確保に取り組んでいる。
- 新規就農者の育成にあたっては、「長野県新規就農里親支援制度」のほか、(有)JA信州うえだファームが実施する研修制度とも就農希望者の情報について十分な連携を図り、就農前の基礎的な栽培技術や各種支援制度の活用方法を習得させ、個々人の適性に合わせた助言・指導を行っている。
- 市町村等と連携し、農業経営を始めてから経営が安定するまでの一定期間、「農業次世代人材投資事業」により、研修者の就農準備、就農者の早期経営確立に向けた支援を行っている。

#### ○新規就農者の状況(45歳未満)

年 度	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
新規就農者数(人)	20	18	16	12	7	6	10

○長野県新規就農里親制度（里親研修）の修了実績 (人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
管 内	2	2	4	5
長野県	28	31	24	30

(注) 研修対象は49歳以下の者。

【参考】

(有)JA信州うえだファーム研修実績 (人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
研修修了者数	8	4	12	10

○農業次世代人材投資事業（準備型と開始型）、新規就農者育成総合対策（就農準備資金と経営開始資金）の実施状況 (人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
準備型	1	1	1	11
経営開始型	45	47	35	35

(注) 準備型・就農準備資金：新規就農に向けて県農業大学校などでの2年間の研修を要する。  
年間最大150万円を最長2年間受け取れる（研修中の資金補助）。

経営開始型・経営開始資金：市町村が窓口となり、就農直後の経営確立を支援するもの。  
年間最大150万円、最長3年間受け取れる（就農後概ね3年間の資金補助）。

イ 競争力の高い水田農業と園芸産地の振興

- ・需要に見合った主食用米の適正生産に向けて多品目や新規需要米の取組を推進するとともに、収益性の高い園芸品目、県オリジナル品種等の販売力の高い品種への転換や導入を図っている。
- ・上田地域の基幹産業とし期待されるワインについては、ワイン用ぶどう栽培に必要な資材や機器の導入を支援している。

○水田への麦・大豆・そば、新規需要米の作付動向

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年対比
	ha	ha	ha	ha	ha	%
麦	299.9	301.1	288.5	355.6	310.9	87.3
大豆	257.3	72.9	58.1	298.0	258.0	86.6
そば	198.1	141.8	141.4	174.8	158.0	90.3
*新規需要米	58.4	59.8	89.7	104.1	94.5	90.8

(上田農業農村支援センター調べ)

(注) 大豆、そばについては二毛作を含む作付面積。

本データは、市町村から提出された「水田収益力強化ビジョン」により作成。

※新規需要米と、「米粉用米、飼料用米、WCS用稲、輸出用米」を指す。

## ○販売力の高い県オリジナル品種等の普及状況

### <作物>

区 分		栽培面積 (ha)				前年対比 (%)
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
米	風さやか	124	141	142	139	98
酒米	山恵錦	1	5	4	4	100
大麦	杵臼ファイバー	10	10	15	15	100
小麦	ゆめかおり	20	20	13	13	100
	しろゆたか	—	—	10	334	3340
そば	タチアカネ	71	70	70	70	100

(上田農業農村支援センター調べ)

### <果樹>

区 分		令和3年		令和4年		令和5年		前年対比	
		栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量
		ha	t	ha	t	ha	t	%	%
りんご	シナリップ	2.5	23.9	4.0	69	4.0	52	100	75
	秋映	18	166	16	252	16	249	100	99
	シナスイート	15	95	14	265	14	243	100	92
	シナゴールド	7	106	6.2	125	6.2	102	100	82
ぶどう	ナガノパール	20	238	21	215	31	266	148	124
	シャインマスカット	65	840	84	964	93	1,032	111	107
	クイーンルージュ®	8	5	12	13	16	19	133	146
	ワイン用品種	120	281	125	307	129	310	103	101

(上田農業農村支援センター調べ)

### <畜産>

区 分		飼育羽数 (羽)				前年対比 (%)
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
鶏	しなの鶏	1,927	2,536	2,424	1,743	72
	信州黄金シャモ	9,816	10,368	11,623	10,706	92
	長交鶏3号	—	—	—	446	—

(園芸畜産課調べ)

## ○ワイン用ぶどうの栽培面積

平成27年に千曲川ワインバレー（東地区）特区を取得後、県単事業等を活用して新植、面積拡大が図られている。

区 分		H30	R元	R2	R3	R4	R5	前年度対比 (%)
面積 (ha)	管内	85	95	108	120	125	129	103
	長野県	301	344	330	385	430	451	105
占有割合 (%)		28.2	26.7	32.7	31.2	29.1	28.6	—

(上田地域振興局調べ)

○産地生産基盤パワーアップ事業等の活用による産地力強化への支援（令和元年度～5年度）

**【産地生産基盤パワーアップ事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
元	東御市 (柗津御堂)	2件	醸造用ぶどう	6.0	果樹棚の整備	12,977	5,898
2	東御市 (柗津御堂)	8件	醸造用ぶどう	13.2	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （草刈り機7台、スピードスプレー5台）	56,390	25,627
3	東御市 (柗津御堂)	4件	醸造用ぶどう	2.9	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （スピードスプレー、トラクター、モア、摘芯機、マルチワン、トリマー）	22,768	10,347
3	東御市 (八重原)	1件	もち性大麦	—	・農業機械のリース導入 （トラクター1台）	10,890	4,950
4	東御市 (滋野、和)	1件	生食用ぶどう	—	・ぶどう用冷蔵庫の導入 6基	14,850	6,750

(上田地域振興局調べ)

**【強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
3	上田市 (殿城)	1件	きゅうり	1240 m <sup>2</sup>	・パイプビニールハウス一式 1240 m <sup>2</sup>	16,628	3,000
3	東御市 (八重原)	1件	水稻 大豆	各1台	・コンバイン、乾燥機、計量機、色彩選別機、もみ殻中継ファン、大豆選別機	22,402	6,109

(上田地域振興局調べ)

**【農地利用効率化等支援交付金事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積・ 台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (上田東)	1件	ぶどう	3,300 m <sup>2</sup> 一式	・トンネルメッシュ（雨除け施設）	4,145	1,044
4	東御市 (北御牧)	1件	水稻	1台	・田植機（スマート農機）	4,565	1,245
5	上田市 (上田東)	1件	水稻	各1台	・田植機、コンバイン	14,125	3,000
5	東御市 (柗津)	1件	果樹	1台	・スピードスプレー	5,760	1,728
5	東御市 (和)	2件	果樹 肉牛	各1台	・スピードスプレー、乗用モア、ディスクモア	8,379	2,285

(上田地域振興局調べ)

**【経営発展支援事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (真田)	1件	野菜	1台	・トラクター	5,056	2,500
4	東御市 (北御牧)	1件	野菜	各1台	・トラクター、モア、管理機	5,272	2,634
5	上田市 (丸子)	1件	野菜	各1台	・トラクター、移植機、ドローン	5,675	2,836
5	上田市 (丸子)	1件	果樹	各1台	・スピードスプレーヤー、乗用モア	7,380	3,690
5	上田市 (丸子)	1件	果樹	各1台	・スピードスプレーヤー、ビニールハウス	2,200	1,100
5	上田市 (武石)	1件	水稻	1台	・光選別機	3,258	1,629
5	上田市 (塩田)	1件	果樹	各1	・ラジコン型動力噴霧器、ワイン用ブドウ栽培施設	3,191	1,575
5	上田市 (塩田)	1件	果樹	1式	・ワイン用ブドウ苗	1,152	530
5	東御市 (和)	1件	果樹	1台	・スピードスプレーヤー	3,710	1,854
5	東御市 (新張)	1件	野菜	1件	・パイプハウス	3,450	1,725
5	東御市 (滋野)	1件	果樹	各1	・運搬車、トンネルメッシュ	3,659	1,829
5	東御市 (和)	1件	果樹	各1	・スピードスプレーヤー、乗用モア、ブドウ棚	3,654	1,825
5	青木村 (村松)	1件	野菜	各1	・ミニトマト自動灌水施設、自走式ラジコン動噴	2,303	1,151

(上田地域振興局調べ)

**【信州農業生産力強化対策事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	事業実施主体名	作物名	面積 (a)	事業内容等	事業費 (千円)	県費 (千円)
3	上田市 東御市	(有)信州うえだ ファーム	りんご、ぶどう、なし	141.8	一時的な樹園地の維持管理	3,170	1,409
3	東御市	(有)信州うえだ ファーム	ぶどう	47.9	樹園地の整備に要する経費	5,491	2,495

実施年度	市町村名(地区名)	事業実施主体名	作物名	面積(a)	事業内容等	事業費(千円)	県費(千円)
3	上田市	J A信州うえだアスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 28棟	6,144	2,500
3	上田市	J A信州うえだ武石野菜部会	アスパラガス	58	かん水施設 3か所	2,790	1,268
4	上田市東御市	(有)信州うえだファーム	りんご、ぶどう、くるみ	131.7	一時的な樹園地の維持管理	4,775	2,051
4	上田市	J A信州うえだアスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 18棟	10,307	2,500
4	上田市	J A信州うえだ武石野菜部会	アスパラガス	16	かん水施設 3か所	1,833	833
5	上田市東御市	(有)信州うえだファーム	りんご、ぶどう	158.4	一時的な樹園地の維持管理	3,388	1,501

### ○ワイン産地づくりへの栽培技術支援

ワイン産地の基盤強化を図るため、生産者の栽培技術向上に向けたセミナーを前年度に引き続き、実施した。

#### ■ワイン用ぶどう生産者技術セミナー

日時	令和6年1月19日(金) 13:30~16:30
場所	上田合同庁舎講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県担当者から、ぶどうの生態、熟度調査、病虫害対策について説明。</li> <li>・事例発表：マンズワイン小諸ワイナリー 栽培管理者 邑田明氏 有機栽培に取り組み始めた中で得た、防除等実践事例を紹介。有機栽培は、収量が低く手間がかかることを発表いただいた。</li> <li>・講演：信州大学特任教授 フランス国家認定醸造士 榎本登喜男氏 演題「有機農業によるオーガニックワイン造りの動向」 生物の多様性や生態系などを意識するフランスや欧州の有機農業について紹介。ビオの要点、防除(バイオコントロール)の考え方、総合型防除などについて具体的に研修。</li> <li>・参加者：生産者17名、講師・行政関係者・報道15名：計32名</li> </ul>

### (3) 消費者が求める食への対応

#### ア 食の地消地産と農産物直売所の機能強化

- ・農産物直売所の取扱量拡大や品質向上、新規出荷者の育成に向けた指導会を実施している。
- ・各常設農産物直売所が、運営上の課題を共有して解決策を話し合う「魅力アップセミナー」の開催や、課題解決に向けた専門コーディネーターの派遣を行っている。

## ○常設農産物直売所の売上高と来客者数

年 度	H30	R 元	R 2	R 3	R 4	前年度対比
店 舗 数	16	17	16	15	15	100%
売上高 (万円)	207, 208	178, 243	185, 486	196, 674	176, 876	90%
来客数 (千人)	2, 446	2, 316	2, 341	—	2, 126	—

(上田地域振興局調)

(注) 店舗数のR元年度からR2年度にかけての1減は、主力の販売品目を大型直売所店への移行による。

R2年度からR3年度にかけての1減は、経営不振による閉鎖によるもの。

R3の来客数についての調査は無し。

## ○魅力アップセミナー開催、魅力アップ支援

### ■農産物直売所魅力アップセミナー

日 時	令和6年2月8日(木) 午後1時30分から午後4時まで
場 所	上田合同庁舎講堂
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・グループワーク</li> <li>「多様化するお客様のニーズにこたえる接遇」</li> <li>キャリアコンサルタント 井出 洋子 氏</li> <li>参加者：直売所関係者 25名、JA及び行政 13名 計 39名</li> </ul>

### ■魅力アップ支援の活動内容

	活動内容	詳 細
①	専門コーディネーター派遣による経営支援	長野県よろず支援拠点のコーディネーターと連携。要望のあった直売所1件に対しサポート支援。
②	魅力アップセミナー開催	研修により、直売所の接客サービスの向上と労働環境の改善に係るスタッフの資質向上
③	端境期の栽培試験	冬場の端境期における品不足の課題に対し、5月の連休前に収穫できるキャベツ等の試験栽培を実施。
	端境期の対策 野菜保存技術の情報収集	野菜をほ場又は冷蔵庫で冬場保存しておき、3月～4月の端境期に出荷できるよう保存技術について収集。

## (4) 暮らしの場としての農村の維持

- ・ニホンジカ、いのしし等の鳥獣害による農作物被害を防止するため、市町村対策協議会が取組む侵入防止策の設置を支援している。
- ・平成12年度から実施している「中山間地等直接支払制度」は、第5期(R2～R6)対策に入っている。農業生産条件の不利な中山間地域において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取り決めを締結し、それに従って水路や農道の管理など農業生産活動を行う場合に、面積に応じて一定額を交付し、農地や集落など農村の維持に役立っている。

### ○鳥獣被害防止対策交付金実績

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	
						うち国費
2	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	21.9	侵入防止柵 2, 113m	4, 543	4, 543
3	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	6.1	侵入防止柵 670m ネット網 47m	1, 920	1, 920
5	長和町 (大門)	長和町有害鳥獣駆除対策協議会	23.0	侵入防止柵 5, 000m	10, 457	10, 000

(上田地域振興局調べ)

### ○中山間地域農業直接支払交付金 (令和5年度)

市町村	集落協定 件	協定参加者 人	協定面積 ha	交付金 (国・県分) 千円
上田市	25	565	172.4	23, 355
東御市	24	1, 355	495.6	76, 011
長和町	12	216	120.6	17, 831
青木村	21	329	77.8	9, 664
計	82	2, 465	866.5	126, 861

(注) 端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(上田地域振興局調べ)

### (5) 長野県価格高騰緊急対策等について

依然続いている世界的な原油価格及び物価高騰等の影響を受け、管内の農業者の経営環境も非常に厳しい状況におかれている。併せて、中長期的な視点からエネルギーコストの削減など未来につながる取組なども進められている。このような状況を支援するため、国・県では継続的に経営支援を継続。

#### 【令和5年度実績】

(令和6年5月末現在)

事業名	市町村	事業実施主体	品目	内容
<b>【国事業】</b>				
施設園芸セーフティ ーネット構築事業	東御市	(株)ハルディン	花き苗	燃料購入費への補填
	東御市	ベルグアース(株)	野菜苗	燃料購入費への補填
<b>【国+県事業】</b>				
配合飼料価格高騰緊急対策事業	管内 全域	管内配合飼料購入 農家	畜産	国の配合飼料価格安定制度への 上乗せ補填
肥料高騰対策事業	管内 全域	J A信州うえだ J A佐久浅間 肥料販売業者	肥料	価格肥料の低減に取り組む販売 農業者への国の肥料価格高騰対 策の上乗せ助成
<b>【県事業】</b>				
農業エネルギーコスト 削減促進事業	上田市	JA信州うえだ	営農	LED照明機器 ← 4年度繰越
養魚用配合飼料価格 高騰緊急対策事業(2 回目)	上田市	(合資)臼田養魚場	養殖	飼料価格の価格高騰分の補填 ← 4年度繰越
きのこ培地資材価格 高騰緊急対策事業	管内 全域	JA信州うえだ 農家8戸	菌茸	培地資材費の価格高騰分の補填

(上田地域振興局調べ)

## (6) 地域計画策定に向けた管内の取組状況

「地域計画」は、これまで地域農業の将来の在り方を示した「人・農地プラン」が、令和5年5月の農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い法定化された計画となる。地域農業の在り方を示す「人・農地プラン」に、「目標地図（10年後の1筆ごとの農地の耕作者を示した地図）」を添付、令和7年3月までの公告・縦覧を経て計画となるが、その策定に向けて、市町村の地区ごとに開催される話し合いの場に、現地支援チームが参加等支援を行っている。

### ◆管内の計画策定予定数

市町村	策定数	策 定 地 区 名
上田市	6	上田東、西部、塩田、丸子、真田（菅平含む）、武石
東御市	5	田中、滋野、祢津、和、北御牧
長和町	4	大門、長久保、古町、和田
青木村	1	青木村